

第49回 全日本大学軟式野球選手権大会

会 期 2026年（令和8年）11月15日日▶20日金
［雨天順延 予備日21日（土） くら寿司スタジアム堺］

会 場
堺 市 くら寿司スタジアム堺（原池公園野球場）
大阪市 大阪シティ信用金庫スタジアム（舞洲ベースボールスタジアム）
住之江公園野球場、GOSANDO南港野球場（大阪市南港中央野球場）

主 催：全日本大学軟式野球連盟
https://junbf.jp

後 援：スポーツ庁　大阪府　大阪市　大阪市教育委員会　堺市　堺市教育委員会
（公財）全日本軟式野球連盟　大阪府軟式野球連盟　全日本大学軟式野球協会

協 賛：ナガセケンコー株式会社　ゼット株式会社　株式会社共同写真企画　キリンビバレッジ株式会社
京王観光株式会社（順不同）

ZETT



ZETT BASEBALL

ORDER GLOVE
SIMULATION

全日本大学軟式野球連盟

第49回

全日本大学軟式野球選手権大会

◆令和８年度◆

JUNBF

結束一心

～仲間と繋ぐ頂への道～

目　次

大会会長　挨拶…… 1

スポーツ庁長官のことば…… 2

大阪府知事のことば…… 3

大阪市長のことば…… 4

大会委員長のことば…… 5

大会役員　名簿…… 6

実行委員会　名簿…… 7

大会規定…… 8

実施要項…… 22

トーナメント表…… 23

球場案内…… 24

出場校一覧…… 27

全日本大学軟式野球連盟　加盟大学一覧…… 80

全日本大学軟式野球協会・全日本大学軟式野球連盟　役員名簿…… 82



ご挨拶

全日本大学軟式野球連盟　会長
大会会長　友重　竜一

第49回全日本大学軟式野球選手権大会の開催にあたり、全国各地区での大会を勝ち抜き、本大会に出場される選手諸君をはじめ、監督・コーチならびに関係者の皆様を大阪の地にお迎えできますことを心より嬉しく存じます。

今年もまた、歴史と伝統の息づく堺市の「くら寿司スタジアム堺」をメイン会場に、大阪府内各地の球場で本大会を開催いたします。各地の素晴らしい球場をお借りして大会を開催するにあたり、多大なるご理解とご協力を賜りました関係者の皆様、審判員をはじめ大会運営に携わる皆様、ならびに関係諸団体・協賛各社の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

私ども全日本大学軟式野球連盟は、全国から集った選手諸君が、これまで積み重ねてきた努力の成果を存分に発揮し競技に専念することができるよう、関係者一同が協力し準備を進めてまいりました。準備を整えた各球場で選手諸君が仲間とともに培ってきた力と技を存分に発揮し、最後まで白球を追い続ける姿が多くの皆様に大きな感動を届けてくれるものと確信しております。

また、選手・関係者の皆様には、競技を通じた交流はもちろんのこと、長い歴史と豊かな文化を育んできた堺のまち、そして活気あふれる大阪の魅力にも触れていただき、ここで過ごす時間が心に残るものとなれば幸いに存じます。

結びに、本大会が選手諸君にとりまして実り多き大会となり、かつ無事に終了いたしますことを心より祈念申し上げ、開会に際しての挨拶といたします。



祝　辞

スポーツ庁長官　河合　純一

はじめに、令和８年熊本地震及び豪雨被害等によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

第４９回全日本大学軟式野球選手権大会が、全国から多数の参加者を得て、大阪府堺市のくら寿司スタジアム堺で盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

本大会は、昭和５３年に始まった伝統ある大会であり、日頃から軟式野球の練習に励んでいる学生の皆さんが一堂に会し、その成果を披露するとともに、我が国における軟式野球の普及、競技力の向上の場として大きな役割を果たしてきました。

本年は、第２０回アジア競技大会・第５回アジアパラ競技大会が愛知県、名古屋市を中心に開催され、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という多様な形での関わりを通じて、より多くの方々が年齢や障害の有無を超え、お互いの違いを尊重し合いながら、スポーツの楽しさや喜びを分かち合う機運が広がっています。

出場される皆さんにおかれましては、日頃の練習の成果を十分に発揮されるとともに、互いを尊重し、全力で競技に臨まれることを期待しています。そして、運営スタッフ等スポーツを「ささえる」立場の方々の尽力により、素晴らしい舞台が提供されていることへの感謝を忘れずに取り組んでください。

本大会の開催に御尽力された全日本大学軟式野球連盟をはじめ、関係の皆様方に敬意を表するとともに、本大会の成功を祈念して、お祝いの言葉といたします。



祝　辞

大阪府知事　吉村　洋文

このたび、「第49回全日本大学軟式野球選手権大会」が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

全国各地から選び抜かれたチームが集い、頂点をめざす本大会は、軟式野球のさらなる普及・発展はもとより、青少年の健全育成にも寄与するものです。

出場される選手の皆様には、これまでの練習で培われた技術を遺憾なく発揮し、気迫あふれるプレーで、大会を大いに盛り上げていただきたいと思います。

また、多くの仲間との出会いを通じて、互いに高め合い更なる技術の向上につなげられるとともに、本大会が新たな刺激と交流を得る機会となることを願っています。

大阪府では、第３次大阪府スポーツ推進計画において「スポーツ楽創都市・大阪」を将来像として掲げ、スポーツによる健康づくりやスポーツツーリズムの推進を通じて健康で活力のある社会の実現をめざしています。昨年10月に閉幕した2025年大阪・関西万博のレガシーを継承し、府民一人ひとりがスポーツに親しみ楽しむことで、高まるいのちの輝きと持続可能な社会の実現に向けて施策を進めてまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

結びに、本大会の開催にご尽力された関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念して、お祝いの言葉といたします。



祝　辞

大阪市長　横山　英幸

第49回全日本大学軟式野球選手権大会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

野球を通じて交流の輪を広げ、スポーツマンシップや豊かな人間性を育む本大会が開催されますことは誠に意義深く、開催に力を尽くしておられる全日本大学軟式野球連盟の皆様方をはじめ、関係各位のご熱意とご努力に深く敬意を表します。

本市では、「誰もがスポーツを楽しめる、元気あふれる大阪のまち」をめざし、スポーツの振興施策に取り組んでおり、健康・生きがいづくり、持続可能で活力あるまちづくり、人と人がつながるスポーツコミュニティづくりに努めております。

出場される選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮され、素晴らしい試合を展開されますとともに、チーム相互の一層の交流と親睦を深められますことを期待しております。

結びに、本大会がますます発展されますよう、また選手の皆様はじめ関係各位のご健勝とご活躍を心からお祈り申しあげまして、お祝いのことばといたします。



ご挨拶

全日本大学軟式野球連盟　理事長
大会委員長　中村　充治

第49回全日本大学軟式野球選手権大会の開催にあたり、主催者を代表いたしまして、ご挨拶と御礼を申し上げます。

弊連盟の最高位の事業であります本大会も、第49回を迎えることとなりました。今年も大阪の地に、全国22連盟の代表チームが集い、日本一を目指して熱戦を繰り広げます。「秋に大阪を目指す」という目標が、全国の大学軟式野球部員にとって大きな励みとなっていることを、大変うれしく感じております。

こうして長きにわたり大会を継続できますのは、開催地の自治体、大阪府軟式野球連盟をはじめとする関係団体、ご後援・ご協賛の皆様、審判員、そして大会運営に携わる学生スタッフなど、多くの方々の熱意とご尽力の賜物です。改めまして、すべての皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、出場される選手諸君に、あえて申し上げたいことがあります。今日、日々野球に打ち込み、リーグ戦を勝ち抜けば全国大会という舞台が用意されていることを、いつの間にか当たり前のように感じてはいないでしょうか。しかし、球場が整えられ、大会が運営され、安心してプレーに専念できる環境は、決して自然に存在するものではありません。皆さんを支えてくださるご家族や指導者、大学関係者、仲間たち、そして表舞台には立たない数多くの方々の努力があって、初めて成り立つものです。そのことを今一度、心に刻んでいただきたいと思います。

全国大会への出場は、皆さん自身の努力の成果であり、誇るべきことです。しかし、その喜びを自分たちだけのものとせず、支えてくださった方々への感謝に変えていただきたい。感謝とは、言葉にするだけでなく、相手を敬い、フェアプレーを貫き、最後の一球まで真剣に向き合う姿勢で示すものだと考えます。日本で生まれ育った軟式野球の最高峰にふさわしい、気迫と節度あるプレーを期待しております。

本大会が、勝敗を超えて皆さんの成長につながり、学生生活のかけがえのない財産となることを願っております。結びに、大会の無事と盛会、選手諸君のご健闘を心より祈念し、ご挨拶といたします。

第49回　全日本大学軟式野球選手権大会　大会役員

大会名誉顧問	長塚　　将	(全日本大学軟式野球連盟　顧問)
大 会 会 長	友重　竜一	(全日本大学軟式野球連盟　会長)
大会副会長	松坂　繁治	(全日本大学軟式野球連盟　副会長)
	福田　克俊	(全日本大学軟式野球連盟　参与)
大 会 顧 問	山口　　宏	(全日本大学軟式野球協会　顧問)
	小山　吉男	(全日本大学軟式野球協会　顧問)
	松岡　弘記	(全日本大学軟式野球協会　会長)
大会委員長	中村　充治	(全日本大学軟式野球連盟　理事長)
大会副委員長	皆巳　幸也	(全日本大学軟式野球連盟　副理事長)
	名古屋　光彦	(全日本大学軟式野球連盟　副理事長)
大 会 委 員	五味　敏雄	(全日本大学軟式野球協会　副理事長)
	児玉　正輝	(全日本大学軟式野球協会　理事)
	奥村　浩正	(全日本大学軟式野球協会　理事)
	三室　陽一	(全日本大学軟式野球協会　監事)
	駒井　叶登、小笠原　理貴、鈴木　勝博、谷村　好洋、栗田　友太郎、相場　奨太、菊池　安武、和田　駿、奥野　水晶、金光　祐大、八尾坂　修、尾山　武史、加納　正雄、村上　俊夫、足立　太一、安田　政彦、中村　真梨央、荒谷　健太郎、田原　晃生、上木　卓、上原　将司	(全日本大学軟式野球連盟　理事)
	蛭間　栄介、福島　慎一、星　恭平、津田　好成、尾村　匠、クレイ　力、高嶋　勇喜	(全日本大学軟式野球連盟　指名理事)
	秋定　孝史、西牟田　晃平	(全日本大学軟式野球連盟　監事)
	鹿野　陽大、刀根　征良、髙月　凱士	(全日本大学軟式野球連盟　学生理事)
競 技 委 員	鹿野　陽大	(全日本大学軟式野球連盟　委員長)
	刀根　征良、髙月　凱士	(全日本大学軟式野球連盟　副委員長)
	大崎　拓海、時田　太輝、藤武　周、川越　輝、鈴木　歩夢、坂田　佑介、松尾　俊太、丹下　雄太、髙橋　尚汰、小林　咲太朗、左近　悠翔、井熊　拓成、森　洋介、中野　太陽、出葉　凛太郎、久保　裕翔、大土井　海翔、佐藤　貴志、岸本　浩徳	(全日本大学軟式野球連盟　連盟委員)
	戸田　幸希、髙梨　薫	(全日本大学軟式野球連盟　指名連盟委員)
審　判　長	谷　　高	(大阪府軟式野球連盟)
審　判　員	大阪府軟式野球連盟　審判員	

第49回 全日本大学軟式野球選手権大会　実行委員会

委員長	森　洋介	（全日本大学軟式野球連盟　学生委員）
副委員長	皆巳　幸也	（全日本大学軟式野球連盟　副理事長）
	戸田　幸希	（全日本大学軟式野球連盟　指名連盟委員）
	髙梨　薫	（全日本大学軟式野球連盟　指名連盟委員）
委員	谷村　好洋	（全日本大学軟式野球連盟　総務部長）
	上木　卓	（全日本大学軟式野球連盟　国際事業部長）
	奥野　水晶	（全日本大学軟式野球連盟　渉外部長）
	足立　太一	（全日本大学軟式野球連盟　国内事業部長）
	津田　好成	（全日本大学軟式野球連盟　会計部長）
	和田　駿	（全日本大学軟式野球連盟　広報部長）
	相場　奨太	（全日本大学軟式野球連盟　記録部長）
	鹿野　陽大	（全日本大学軟式野球連盟　学生理事）
	刀根　征良	（全日本大学軟式野球連盟　学生理事）
	髙月　凱士	（全日本大学軟式野球連盟　学生理事）

協力　大阪府軟式野球連盟

令和8（2026）年度
全日本大学軟式野球選手権大会
全日本大学軟式野球選抜大会

大　会　規　定

全日本大学軟式野球連盟主催の全日本大学軟式野球選手権大会および全日本大学軟式野球選抜大会競技は公認野球規則および本規定に基づいて行われる。

大会規定の構成

1．大会特別規定
　　別表　ユニフォーム等に関する規定
2．競技運営に関する注意事項
3．試合に関する注意事項
4．指名打者制度に関する細則
5．大会期間中の注意事項
6．選抜大会特例事項
7．投手の12秒ルールおよび20秒ルールの運用基準
8．改訂履歴

全日本大学軟式野球連盟

大会特別規定

1．大会使用球

大会使用球は、公益財団法人全日本軟式野球連盟（以下「全軟連」という。）公認M号球とする。

2．表彰選手

大会の表彰は、以下のとおりとする。

・最優秀選手　：優勝チームから１名選出
・最優秀投手　：優勝チームの投手から１名選出
・優秀選手　　：準優勝チームから１名選出
・敢闘賞　　：３位のチームから１名ずつ選出
・特別賞　　：特に目立った、活躍した選手がいた場合のみ選出

3．用具

大会で使用する用具および装具は、公認野球規則で規定されるもののほか、次による。

（1） 金属・ハイコン（複合）バットはＪ・Ｓ・Ｂ・Ｂのマークをつけた全軟連公認のものに限る。色の制限はない。
（2） 金属・ハイコン（複合）以外のバットは、一本の木材で作った木製バットのほか、竹片、木片などの接合バットであること。
（3） 試合に出場する捕手、シートノックに参加する捕手およびブルペン捕手は、安全のためプロテクター、レガーズ、スロートガード付マスク、捕手用ヘルメットを着用すること。なお、捕手用ヘルメットとマスクの一体製品は使用を禁止する。
（4） 捕手は、Ｓ・ＧマークおよびＪ・Ｓ・Ｂ・Ｂマークのついた全軟連公認のマスク、ヘルメット、レガーズおよびプロテクターを必ず装着しなければならない。
（5） 打者、次打者、走者およびベースコーチは、Ｓ・ＧマークおよびＪ・Ｓ・Ｂ・Ｂマークのついた全軟連公認のヘルメットを必ず着用しなければならない。ヘルメットは両側か片側にイヤーラップのついたものとする。また、ヘルメットに後から顎ガードを取りつけるなど、ヘルメットを不正に改造することを禁止する。
（6） 打者のエルボーガード、フットガードは大会本部の承認をもって使用するものとする。カラーはメーカーロゴを除き、本体およびバンドは単色（白、黒、紺）とし、メーカーロゴの表示は１箇所までとする。なお、着脱にあたっては、試合の進行を妨げないこと。
（7） サングラスは大会本部の承認なしに使用できる。

4．ユニフォーム等

ユニフォーム、スパイク等は、公認野球規則で規定されるもののほか、次による。

（1） 同一チームの監督、コーチ、選手は同色、同形、同意匠の学生らしいユニフォームでなければならない。
（2） ユニフォーム等の詳細は、別表「ユニフォーム等に関する規定」（２００７年１２月２日制定）による。
（3） グランドコートは、走者になった投手およびベースコーチの着用を認める。
（4） ネックウォーマーは、季節を考慮して着用することができる。
（5） アームバンド、アームスリーブ（アームサポーター）は、アンダーシャツと同色とし、同色のものが市販されていない場合は、アンダーシャツと同系色の単色とする。
（6） 投手がアームスリーブ（アームサポーター）を着用する場合は、長袖のアンダーシャツの下に着用するものとする。

（7） 投手が手首にリストバンド、サポーターなどを使用することを禁止する。なお、負傷で手首に包帯等を巻く必要があるときは、大会本部等の承認が必要である。
（8） ヘアバンド、インナーキャップ等の頭部への装着物は、黒またはネイビーの単色とする。

5．チーム編成等

（1） チームは、加盟届に登録がなされている部長１名、監督１名、コーチ２名、スコアラー１名、トレーナー（有資格者）１名、選手２５名以内で構成される。
（2） 背番号は、監督３０番、コーチ２９番、２８番（１名の場合は２９番を優先）、主将１０番とし、選手は１番から９９番とする。選手は３０番、２９番、２８番を着用できない。

6．試合運営

（1） 試合は９回戦とする。
（2） １回戦、２回戦、準々決勝は得点差によるコールドゲームを適用し、５イニング以降１０点差、７イニング以降７点差以上でコールドゲーム成立とする。
（3） 暗黒、降雨などで９回までイニングが進まなくても、１回戦から準々決勝までは５回を終了した時点で、準決勝以降は７回を終了した時点で試合成立とする。これ以前に試合続行不可能となった場合はノーゲームとなり、再試合を行う。試合続行の可否については、大会本部、審判団の協議により判断する。
（後攻のチームの得点が、先攻のチームの得点より多い場合は、５回もしくは７回の裏を行わなかったとき、または５回もしくは７回の裏の途中で試合終了が命じられたとしても正式試合となる）
（4） ９回終了時点で同点の場合は延長戦を行う。延長戦の回数は最長１５回までとし、それでも勝敗が決しない場合は、再試合を行う。再試合は原則翌日とする。
（5） 延長戦において１回戦、２回戦、準々決勝は試合開始後２時間を、準決勝は試合開始後２時間３０分を経過した場合は、新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を採用する。
※タイブレーク方式
継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者は一塁走者の前の打者として０アウト一塁、二塁の状態にして１イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様、選手の交代は認められる。また、イニング開始時に一塁または二塁走者となる者が投手または捕手である場合は、当該投手または捕手の前の打者による臨時代走を置くことができる。ただし、当該投手または捕手の前の打順の打者が捕手または投手（投手兼任の指名打者も含む。）である場合は、さらにその前の打順の打者を臨時代走とする。なお、臨時代走を置く場合は、代走者２名のうち打順が先の打者を二塁走者、後の打者を一塁走者とする。
（6） 決勝戦のみ延長戦の時間制限を設けないが、延長戦は最長１５回までとし、勝敗が決しない場合は、新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を採用する。
（7） ナイター設備のない球場では、日没コールドを適用することがある。
（8） ３位決定戦は行わない。準決勝で敗れた２チームを３位とする。

7．試合放棄

正当な理由なく、試合開始の整列時に９名以上の登録選手が集合しない場合、また放送で呼び出しても主将がメンバー表交換に本部席に現れない場合は試合放棄とみなす。

8．トレーナー

トレーナーの処置は、いかなるときも緊急時のトラブル対応が最優先される。

別表

ユニフォーム等に関する規定

ユニフォーム	
①色、形、意匠	・全員同色、同形、同意匠 ・メーカーの商標表示は禁止 ・メッシュ地と普通生地などは、全員同一とは問わない ・ズボン裾はふくらはぎ上部まで上げ、チームで統一すること ・袖の長さは左右同一にする ・デザイン性より、安全性にこだわること
②背番号	・主将　１０番 ・監督　３０番 ・コーチ　２８番および２９番（１名の場合は２９番を優先） ・選手は１０番、２８番、２９番および３０番以外の　１番から９９番まで
③表示	・全員同一の表示を必要とする ・背番号（胸や肩も可）、地域名（都道府県名、市町村名、旧名称など）、大学名（準じるもの）、校章（準じるもの）、個人名（背番号の上にローマ字による姓のみ可。ただし同姓がいる場合は、名の頭文字を入れることも可）の範囲で表示可とする
帽子	・全員同色、同形、同意匠 ・メーカーの商標表示は禁止
アンダーシャツ	・全員同色 ・選手毎の袖の長さの統一は問わない ・メーカーの商標表示は禁止
ストッキング	・全員同色 ・メーカーの商標表示は禁止
スパイク	・全員同色（メーカー統一は問わないが、配色は統一とする）
アクセサリー	・金属、非金属問わず、いかなるものも不可（リストバンド、サポーター等除く）
レッグガード **エルボーガード**	・大会本部の承認をもって使用すること ・カラーはメーカーロゴを除き、本体およびバンドは（白、黒または紺）の単色 ・メーカーロゴの表示は１箇所まで

競技運営に関する注意事項

1．主将会議

（1） 出場チームは、必ず主将１名とマネージャー（または主務）１名の合計２名を主将会議に出席させること。なお、マネージャー（または主務）がいないチームは選手を代わりに出席させること。

（2） 出席のないチームは原則として大会を棄権したものとみなす。

（3） 主将会議で説明または決定された事項は、チーム全員に徹底させること。

（4） 選手登録メンバーの変更は、所定の様式にて主将会議の受付時までに大会本部に提出し、受理されることにより認める。以降の変更はいかなる理由があっても認めない。主将会議にて大会本部に受理された登録の変更内容を確認し、主将会議の終了時をもって選手登録は最終確定とする。また、大会本部は、主将会議で最終確定した全出場チームの選手登録メンバーを主将会議終了後速やかに全出場チームに対して配付する。

（5） 出場チーム出席者は必ず主将または主将の代理として出席する選手はユニフォーム着用、マネージャー（または主務）は正装で参加すること。

2．開会式

（1） 主将会議にて登録確認が済んでいる者（２５名以内）は全員出席すること。

（2） 大会本部の許可なく開会式に出席しない者が出たチームは原則として棄権とみなす。

（3） 入場行進は主将を先頭に、背の高い順に２列で行進をする。腕の振りは、真下から４５度の角度を目安とし、チーム全体で合わせること。

（4） 迅速な行動をとること。

（5） 球場のスタンドにおける荷物の置き場は実行委員会より指定するところとする。開会式の間、盗難などの被害に遭わないよう各チームで注意すること。

（6） 開会式は、スパイク着用を禁止とする。全員アップシューズにて入場行進すること。色やデザインは統一することが望ましい。

（7） 学校名のプラカードは、マネージャー（または主務）により持つようにする。マネージャー（または主務）のいないチームは、実行委員会より代理者を派遣することとする。

（8） 登録選手がやむを得ない理由により開会式を欠席する場合は、主将が事前に各加盟会員連盟の理事長に報告し、所定の欠席届を主将会議終了時までに大会本部に提出すること。大会本部が受理し、これを認めた場合のみ欠席を許可する。

3．ダッグアウト

（1） 組み合わせ番号の若い方を１塁側とする。

（2） ベンチ入り有資格者

ⅰ）主将会議にて登録確認の済んでいる選手２５名以内と、部長１名、監督１名、コーチ２名以内とスコアラー１名、トレーナー１名の計３１名以内。なお、スコアラーおよびトレーナーにつき、パンフレットに記載された者であれば、試合毎にベンチに入ることのできる者を変更することができる。

ⅱ）ベンチ入りできるトレーナーについては次の要件のいずれかを満たすものとする。

①アスレティックトレーナー資格をもつ者（公的機関による）

②医師（国家資格による）

③柔道整復師、理学療法士、看護師等国家資格による準医療資格をもつ者

④日本赤十字社救急法「救急員養成講習」受講認定をもつ者

なお、要請があった場合は資格確認ができるよう資格証等を常時携帯すること。

4．グラウンドに入れる者の制限

（1） ノッカーも必ず選手と同じ服装とすること。

（2） 練習中およびノック中に、ユニフォームを着用していないもの、登録されていない者はグラウンド内への立ち入りを禁ずる。

（3） シートノック開始前に限り、次の条件でサイドノックを認める。内野手のサイドノックは、ベンチ前を利用して塁間程度の距離でゴロ打球の捕球練習をすること。外野手のサイドノックは、一塁または三塁後方のファウル領域から、安全な方向に向けてノックを行うこと。ノッカーにボールを渡す選手、または野手からの送球をノッカーの近くで捕球する選手は必ずヘルメットを着用すること。

（4） シートノック中にダートサークル内に留まる、あるいは出入りする補助員は、大会特別規定　3．用具で定めるヘルメットを必ず着用すること。ただし、捕手用、打者・走者用は問わない。

（5） ベンチ入りするスコアラーは正装とする。また、ハイヒールでグラウンド内に入ることを禁止する。

（6） 各チームのトレーナーは、仕事のしやすい服装（トレーニングウェアなど）を着用すること（ジーンズ等は不可。）。

5．メンバー表の交換および攻守の決定

（1） 第１試合に出場する両チームの主将は、試合開始予定時刻の１時間前に、当連盟所定のメンバー表４通を持って本部席に集合する。初日は開会式直後に移動がある場合には各球場到着直後に集合するものとする。

（2） 第２試合以降に出場するチームの主将は、自チームの直前の試合の５回裏終了時に当連盟所定のメンバー表４通を持って本部に集合すること。

（3） 試合の攻守は大会第１日目の試合は主将会議で、それ以外の試合はメンバー表交換時に（審判または大会本部役員立会いの下）主将のジャンケンによって決定する。

（4） やむを得ない理由により監督代行をおく場合は、監督代行となるものをメンバー表に明示するとともに、メンバー表交換時にあらかじめ大会本部ならびに審判団に申告すること。

（5） 選手兼監督がいる場合には、メンバー表交換時にあらかじめ本部ならびに審判団に申告すること。

6．試合開始前のアップ

（1） グラウンド周辺でのアップは一般客等に十分配慮して行うこと。

（2） グラウンド周辺でのバット、ボールの使用を禁止する。

（3） 第１試合に出場するチームは、外野でのアップ、キャッチボール、トスバッティングを認める。

（4） 第２試合以降は原則として球場内でのアップ時間はとらない。

（5） 第２試合以降の出場チームのキャッチボール、トスバッティングはシートノック開始前に限り、ファールグラウンドで行うことを認める。このとき外野の使用を認める場合もある。

（6） 次の試合の先発バッテリーはメンバー表交換後、競技場内のブルペンを使用することができる。ただし、試合中のチームの使用を優先する。

（7） グラウンド内には、野球用具以外のあらゆるトレーニング器具類の持ち込みを禁止する。

7．シートノック

（1） シートノックは後攻チームからそれぞれ７分間ずつ行う。

（2） 第１試合のシートノックは試合開始予定時刻の３０分前より行う。

（3） 第２試合以降は、原則として前試合終了後準備が出来次第行う。

（4） 大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。この場合は攻守決定時に通知する。

8．試合中の注意事項

（1） 試合中、ブルペンを除きファウルグランドでキャッチボールを行うことを禁止とする。ただし、出場中の投手が投球練習を行うため、当該投手と当該投手の投球を受ける者（1名に限る）に限り、ファウルグランドでキャッチボールを行うことを認める。

（2） 試合中のプレーヤーは実際に競技に携わっている者のほかには、ベースコーチ、次打者以外はベンチに入っていなければならない。

（3） バットボーイはベンチ内で待機すること。

（4） ベンチ内への電子機器類（携帯電話、スマートフォン、パソコン、カメラ等の録音・録画機器等）および携帯マイクの持ち込みを禁止する。

（5） 攻守交代時に、守備につくチームの控え選手が整列して声掛けを行う際は、ベンチの前とし、インフィールドに近づきすぎないこと。

（6） メガホンはベンチ内に限り1個の使用を認める。

（7） 試合中、守備側のタイムにおいて、ベンチの指示を伝えるための伝令を許可する。この時、伝令に出られるのはベンチ入りの選手の中の1名とする。

9．各球場での注意事項

（1） 球場外でのスパイクの使用を厳禁する。また球場内においても使用を禁止されているところはスパイクで入らないこと。

（2） 球場周辺でのアップは原則体操、ランニングのみとする。

10．雨天

（1） 試合の有無は各自で判断しないこと。試合の有無については大会本部より主将もしくは主務に直接あるいは携帯電話にて連絡する。

（2） 当日、試合を全て中止する場合と、午前中は見合わせて午後から行う場合があるので、大会本部からの連絡に注意すること。

（3） 少雨の場合でも、日程の都合上、球場の使用が可能な限りは試合を行う。各チームは独自の判断で延期または遅刻をしてはならない。その場合は、原則として棄権したものとみなす。

11．日程

（1） 試合の日程が著しく遅れた場合には、その後の試合を予定以外の会場で行うことがある。

（2） 天候等の理由により日程が著しく遅れた場合あるいは遅れそうな場合は、会場と試合数を変更することがある。

12．その他

（1） 大会に関する全事項、大会委員、審判団、競技委員の指示は必ず守り、大会の運営に支障がないように協力する。

（2） 予測不能な事態が生じた場合、大会委員、審判団、競技委員の判断にゆだねる。

（3） 何か疑問があれば主将会議時に質問すること。それ以外でのクレームは認めない。本大会の規定においてこの原則は全て適用される。

試合に関する注意事項

1．選手交代は必ず監督が球審に申し出ること。なお、監督がいない場合は監督代行または主将が必ず代行し、選手交代通告時に試合進行の妨げとならないよう行うこと。

2．試合開始前に、審判団による用具の確認が行われる。

3．試合球の交換は審判員が認めたときに限る。

4．試合のスピード化に関して次のことを遵守すること。

（1） 試合はスピーディに運ぶよう努め、１試合の競技時間は９０分以内を目標とする。

（2） 攻守交替は駆け足で行うこと。

（3） 攻守交替の際、守備側は必ず投手板にボールを置いてベンチに戻ること。

（4） 投手と捕手について

ⅰ）投球を受けた捕手は、その場から速やかに投手に返球すること。

ⅱ）捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板に触れて投球姿勢をとること。

ⅲ）あまりインターバルが長かったり、無用なけん制が多いと審判員が判断したら、遅延行為として投手にボークを課すことがある。

ⅳ）投手の１２秒ルールおよび２０秒ルールを採用する。詳細は投手の１２秒ルールおよび２０秒ルールの運用基準を参照すること。

（5） 打者について

ⅰ）打者は速やかに打席に入ること。

ⅱ）次打者は必ずネクストバッターサークルに入ること。投手であっても必ず実行すること。投手が投球に関する動作（サインを見る姿勢）に入ったら、速やかにスイングをやめ投球を注視すること。

ⅲ）打者はみだりにバッターボックスを外さないこと。また、必ずバッターボックス内でサインを見ること。

ⅳ）打者がタイムを要求するときは、投手が投球動作に入る前でなければならない。また打者は、投手が投球動作に入ったらバッターボックスを出てはならない。

ⅴ）打者が四死球で走者となり保護具（レッグガード、エルボーガード、その他）を外すときには、本塁周辺で外し一塁へ向かうこと。

（6） 内野手について

ⅰ）試合中、内野手間で転送球を行う際は、１回り以内とする。

ⅱ）試合進行が遅れている場合には転送球を止めさせることがある。

（7） 審判員はスピード化を図るため、打者の頭部へのヒットバイピッチが発生した場合およびプレーヤーが負傷などで治療が長引く場合は、相手チームに伝え、試合に出ている９人の中から代走（臨時代走者）を認めて試合を進行させる。このとき、代走者は、打順の前位のもの（投手および捕手は除くことができる）とする。

5．指名打者制度について

（1） 出場チームは、試合において指名打者制度を使うことができる。

（2） 指名打者制度を試合で採用する場合は、別紙「指名打者制度に関する細則」に従うものとする。

6．タイムの制限について

（1） タイムは１分以内を限度とする。ただし、審判員が必要と認めた場合はこの限りではない。

（2） タイムは、プレーヤーの要求したときではなく、審判員が宣告したときである。

（3） 監督等（監督、監督代行、コーチ）が投手の所へ行く回数の制限

監督等が１試合に投手の所へ行ける回数は３回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）は、２イニングに１回行くことができる。

（4） 守備側のタイムの制限

ⅰ）捕手または野手が１試合に投手の所へ行ける回数は合計３回以内とする。ただし、投手交代時にサイン等の確認で捕手との打ち合わせのために、準備投球の前または後に少しだけ行う会話は回数に含めない。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）は、２イニングに１回行くことができる。

ⅱ）捕手または野手が投手のところへ行った場合、そこへ監督等が行けば、双方１回として数える。逆の場合も同様とするが、投手交代の場合は、監督等のタイムの回数についてのみ含めない。

ⅲ）選手兼監督がいる場合は、その選手が投手の所へ行けば野手としての１度に数えるが、協議があまり長引けば、監督等が投手の所へ１度行ったこととし通告する。

（5） 攻撃側のタイムの制限

攻撃側のタイムは、１試合に３回以内とする。なお、延長戦（タイブレークを含む）は２イニングに１回とする。

7．ストライク、ボール、アウト、セーフ、ハーフスイング、フェア、ファールなどの判定に対する抗議は認めず厳禁とする。審判員の判定が誤って下された疑いがあるときには、監督または主将が判定の確認を求めることができる。

8．球審が下したハーフスイングの判定には抗議できないが、球審がボールと判定したときのみ、捕手が球審に対し、振ったか否かの確認を求めることができる。

9．試合中の禁止事項

（1） 足を高く上げてスライディングすること。なお、これが守備妨害になったと審判員が認める場合は、走者をアウトとする。

（2） プレーヤーが塁上に腰をおろすこと。

（3） プレーヤーおよび審判員に対する野次。

（4） プレーヤーおよび審判員に手をあげること。

（5） ガム等を噛むこと。

10．投手の投球フォームについて

（1） 投手は、審判団から注意を受けた場合やボークを宣告された場合はそれに従い、投球フォームを改めること。

（2） セットポジションから投球する投手は、投球するまでに必ずボールを両手で保持したことを明らかにしなければならない。その保持に際しては、身体の前面ならどこで保持してもよいが、同一打者のときは同じ位置でなければならない。ただし、打者によって止める位置を変えることは構わない。

11．故意四球について

故意四球（いわゆる敬遠）をするときは、実際に投手が投球し、打者が打撃中にボール４個を得ることとする。ただし、審判団が申告での故意四球を認めた場合はこの限りではない。申告敬遠は守備側のチームの監督が申告するものとし、監督がいない場合は監督代行または主将が申告するものとする。

指名打者制度に関する細則

1．試合において指名打者制度を採用する場合は、公認野球規則　5．１１指名打者　（a）項および（b）項に従うものとする。

（制定：２０２３年6月２５日、施行：２０２３年8月２７日）

大会期間中の注意事項

1．大会参加に際しては、「大会特別規定」「競技運営に関する注意事項」「試合に関する注意事項」「大会期間中の注意事項」等をよく読んで、全部員に周知徹底し、これらを遵守すること。

2．大学軟式野球競技者として、常に規律規範を守る行動を心掛け、試合だけでなく、移動中、宿舎やその他の行動についても迷惑などかからぬよう十分注意すること。

3．試合中の暴力行為、暴言に関しては、当該選手の退場および当該試合没収の処分に処することがある。また、審判員の下した判断に対する抗議は、試合運営に支障をきたすと審判員および大会本部が判断した場合、審判員および大会本部は上記の処置をとることができる。

4．大会中の各会場への移動は、遅刻のないようにする。

5．大会中のユニフォーム着用中での喫煙を厳禁する。また、観客その他関係者が多い球場周辺においての喫煙は、ユニフォームを着用していなくても禁止とする。大会期間中は代表校の一員であることを自覚し、宿舎等での生活においても、周囲に迷惑のかかるような喫煙は厳に慎み、喫煙マナーを守ること。

6．大会中の各会場の本部席、ならびに記録室等への立ち入りは、関係者以外禁止とする。なお、関係者とは、大会役員（審判員を含む）、実行委員会スタッフ、報道関係者を指す。ただし、大会本部の許可があり、運営上必要な場合はこの限りではない。

7．カメラマン席への立ち入りは、関係者以外禁止とする。ただし、大会本部の許可がある場合はこの限りではない。

8．大学軟式野球競技者として相応しくない行為があった場合は、大会役員および審判員等から注意する。この場合は、当該選手ならびにチームは注意、指示に従わなければならない。

9．全てにおいて迅速に行動すること。

10. 各自で出したゴミは責任を持って持ち帰ること。弁当のゴミについては、各大学でまとめて所定の位置におくこと。

11. ゴミ、タバコに関する規律が守られてない大学に対して注意を促しても従わなかった場合、何らかのペナルティーを与える。

12. 貴重品の管理は十分注意すること。

選抜大会特例事項

1．試合開始時刻は原則トーナメント表に記載されている時刻とする。ただし、第３試合はその限りではない。

2．天候不良等で試合開始時刻に変更が生じた場合は、その後の試合は開始時刻が前後する可能性がある。

3．第２試合に出場する両チームがグラウンドに入れる時間は第１試合と同様の時刻（試合開始７０分前）とする。

4．第２試合のメンバー表交換は試合開始予定時刻の１時間前に行うこととし、大会規定　競技運営に関する注意事項５（２）は適用しない。

5．第２試合のシートノックは試合開始予定時刻の３０分前より行うこととし、大会規定　競技運営に関する注意事項７（３）は適用しない。

投手の12秒ルールおよび20秒ルールの運用基準

1．計測

計測は二塁塁審がストップウオッチを持って行う。

2．12秒ルールの適用

（1） 走者がいない場合に適用する。

（2） １２秒の計測は、投手がボールを所持し、打者がバッターボックスに入り、投手に面した時に始まり、投手が投球に関する動作を開始した時に終わる。

（3） １２秒を経過したとき、二塁塁審は「タイム」を宣告し、頭上で大きく手首を叩いて球審に１２秒が経過したことを知らせる。

※二塁塁審のタイムの宣告と同時にボールデッドとなる。

※タイムの宣告にもかかわらず投手が投球した以降のプレイは無効とする。

（4） 二塁塁審の知らせを受けた球審は、ボールを宣告する。その際、球審は投手および守備側の監督に１２秒ルールを適用したことを告げる。

3．20秒ルールの適用

（1） 走者がいる場合に適用する。

（2） ２０秒の計測は、次の時に始まり、いずれの場合も投手が投球に関連する動作を開始した時に終わる。

A）イニングが始まるときやボールデッドになったときは、球審がプレイを宣告した時。

B）ボールインプレイの状態で、新しい打者が打撃を開始するときや、打者がバッタースボックスの外に出ざるを得なくなったときなど、投手がボールを所持し、打者がバッタースボックスに入り、投手に面した時。

C）ボールインプレイの状態で、打者がバッタースボックス内で打撃を継続しているときは、投手が捕手や他の野手からボールを受け取った時。

（3） ２０秒を経過したとき、二塁塁審は「タイム」を宣告し、頭上で大きく手首を叩いて球審に２０秒が経過したことを知らせる。

※二塁塁審のタイムの宣告と同時にボールデッドとなる。

※タイムの宣告にもかかわらず投手が投球した以降のプレイは無効とする。

（4） 二塁塁審の知らせを受けた球審は、ボールを宣告する。その際、球審は投手および守備側の監督に２０秒ルールを適用したことを告げる。

（5） 投手が塁に牽制球を送球したときは、２０秒の計測をリセットする。

※投手板を外しただけのときや偽投のときは、計測を継続する。

※送りバントのケースなど、捕手が内野手にサインを出している間も、計測は継続する。

4．本運用基準の適用について

本運用基準は、本連盟が運営する全ての大会に適用するが、大会を担当する審判団との事前協議の結果、一部または全部を適用しないことがある。本運用基準と異なる内容で適用する場合は、当該大会の主将会議において周知徹底するものとする。

以上

(制定、施行：２０２６年　6月２１日)

改訂履歴

２０１７年　６月２５日	全面改訂
２０１８年　６月２４日	・大会使用球の規定変更 ・エルボーガード、フットガードの規定変更（使用条件明示） ・選手登録変更の方法の規定変更（前々日正午までに提出） ・ファールグランドでのキャッチボール禁止規定の追加 ・２段モーションの禁止規定の追加 ・故意四球の規定追加
２０２１年　８月　１日	・大会名称の変更 ・用語の記載表現の統一 ・アームスリーブに関する規定の追加
２０２２年　７月１５日	・用具（捕手用マスク、打者・走者用ヘルメット）の規定変更 ・ヘアバンド、ヘアキャップに関する規定の追加 ・投手の２段モーションに関する規定の削除 ・その他形式的な条文見直し
２０２３年　６月２５日	・捕手の臨時代走免除にかかる規定見直し ・用具、ユニフォームにかかる規定の整理および商標表示にかかる規定の厳格化 ・選手登録期限にかかる規定の見直し ・試合前のシートノック中の補助者にかかる規定の新設 ・ファウルグラウンドでの投球練習にかかる規定の新設 ・ベンチ内への電子機器持ち込み禁止の厳格化 ・指名打者にかかる規定の新設 ・その他形式的な条文見直し
２０２３年１０月１５日	・先発バッテリーがブルペンを使用できるタイミングの見直し ・別紙「指名打者制度に関する細則」の追加
２０２４年　６月２３日	・ノッカーの服装に関する規定の見直し ・次打者のネクストバッターズサークル内での所作に関する規定見直し
２０２５年　７月２０日	・主将会議出席者の服装に関する規定の見直し ・サイドノックに関する規定の新設 ・メンバー表に関する規定の見直し ・選抜大会特例事項の追加
２０２６年　６月２１日	・用具（ヘルメット）に関する規定の一部見直し ・タイブレーク方式のイニング開始時の臨時代走に関する規定の追加 ・レッグガードおよびエルボーガードに関する規定の追加 ・サイドノックに関する規定の見直し ・守備側のタイムの制限に関する規定の一部削除 ・投手の投球フォームに関する規定の追加 ・投手の１２秒ルールおよび２０秒ルールの運用基準の新設 ・その他表現等の軽微な修正

第４９回全日本大学軟式野球選手権大会　実施要項

令和８年６月２１日

１．主催	全日本大学軟式野球連盟
２．後援	スポーツ庁、大阪府、大阪市、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会、 公益財団法人全日本軟式野球連盟、大阪府軟式野球連盟、全日本大学軟式野球協会
３．協賛	ナガセケンコー株式会社、ゼット株式会社、株式会社共同写真企画、 キリンビバレッジ株式会社、京王観光株式会社　（順不同）
４．会期	令和８年１１月１５日（日）から２０日（金） ※雨天順延　予備日２１日（土）　くら寿司スタジアム堺
５．会場	堺市／くら寿司スタジアム堺（原池公園野球場） 大阪市／大阪シティ信用金庫スタジアム（舞洲ベースボールスタジアム）、住之江公園野球場、 GOSANDO 南港野球場（大阪市南港中央野球場）
６．参加範囲	全日本大学軟式野球連盟に所属する２２連盟から代表１チームの合計２２チーム
７．参加資格	出場チームは下記の条件を満たしていること Ⅰ．令和８年９月３０日現在、全日本大学軟式野球連盟に加盟している （加盟届の提出及び加盟費の納金が完了されている） Ⅱ．各連盟が主催する地方大会を経て選出されている Ⅲ．Ⅰの加盟届にて登録がなされている部長（１名）、監督（１名）、コーチ（２名）、 トレーナー（１名）、選手（２５名）以内で構成されている Ⅳ．背番号は監督３０、コーチ２９・２８（２９を優先に）、主将１０、選手は１～９９を付けていること
８．参加申込	上記７をすべて満たしたチームは、実行委員会が配布する『参加申込書』『(パンフレット用)登録用紙』『参加費』および『宿泊交通費等申込書』を提出、振込を行うこと ※令和８年１０月１０日（土）必着
９．大会参加費	１チーム　６０，０００円
１０．試合組合せ	令和８年１０月１７日（土）　オンラインにて抽選 ※天候等により組合せに記載される試合会場及び試合開始時刻が変更となる場合がある。 尚、２１日を予備日として利用するが、順延が２日になる場合ダブルヘッダーで試合を行う可能性がある。
１１．主将会議	日時：令和８年１１月１５日（日）１４時００分 場所：ダイワロイネットホテル堺東
１２．開会式	日時：令和８年１１月１５日（日）１７時００分 場所：くら寿司スタジアム堺（原池公園野球場）
１３．大会使用球	公益財団法人全日本軟式野球連盟公認 M 号球
１４．大会規則	２０２６年公認野球規則及び本連盟が定める全日本大学軟式野球選手権大会・選抜大会の大会規定を適用する。
１５．表彰	全日本大学軟式野球選手権大会・選抜大会の大会規定に基づき表彰する。
１６．交通	①　大阪までの往復交通は、大会実行委員会が指定する旅行代理店を利用するなどして、各出場チームが責任を持って手配するものとする（往復移動中は正装またはそれに準ずるものを着用し移動するものとする。）。 ②　宿泊施設から野球場までの移動は、原則として大会実行委員会所定手段の利用とする。 ③　①、②の場合ともに大学所有や民間の貸切バスをチームの責任において使用する場合はこの限りではない。ただし、事前に大会実行委員会に書面にてその旨を連絡し、許可を得なければならない。
１７．宿泊	現地での宿泊については大会実行委員会が指定する旅行代理店及び宿泊施設を通して各出場チームが手配するものとし、宿泊その他一切の責任は当該チームが負うものとする。 また、ベンチ入り構成員は、該当試合当日の宿泊を義務とするが、やむを得ない事情に限り、一定額のキャンセル料を支払えば、敗退した日のチェックアウトを認める。 決勝戦および閉会式の日は義務とはしない（閉会式朝のチェックアウトを認める。）。
１８．閉会式	日時：令和８年１１月２０日（金）決勝戦終了後　くら寿司スタジアム堺（原池公園野球場）
１９．その他	出場チーム構成員が大会参加に際して自家用車やレンタカー等を使用することを禁止とする （出場チームの教職員またはそれに準ずる者が運転するバス等を除く）。 大会参加にあたっては『大会参加マニュアル』を熟読するものとする。

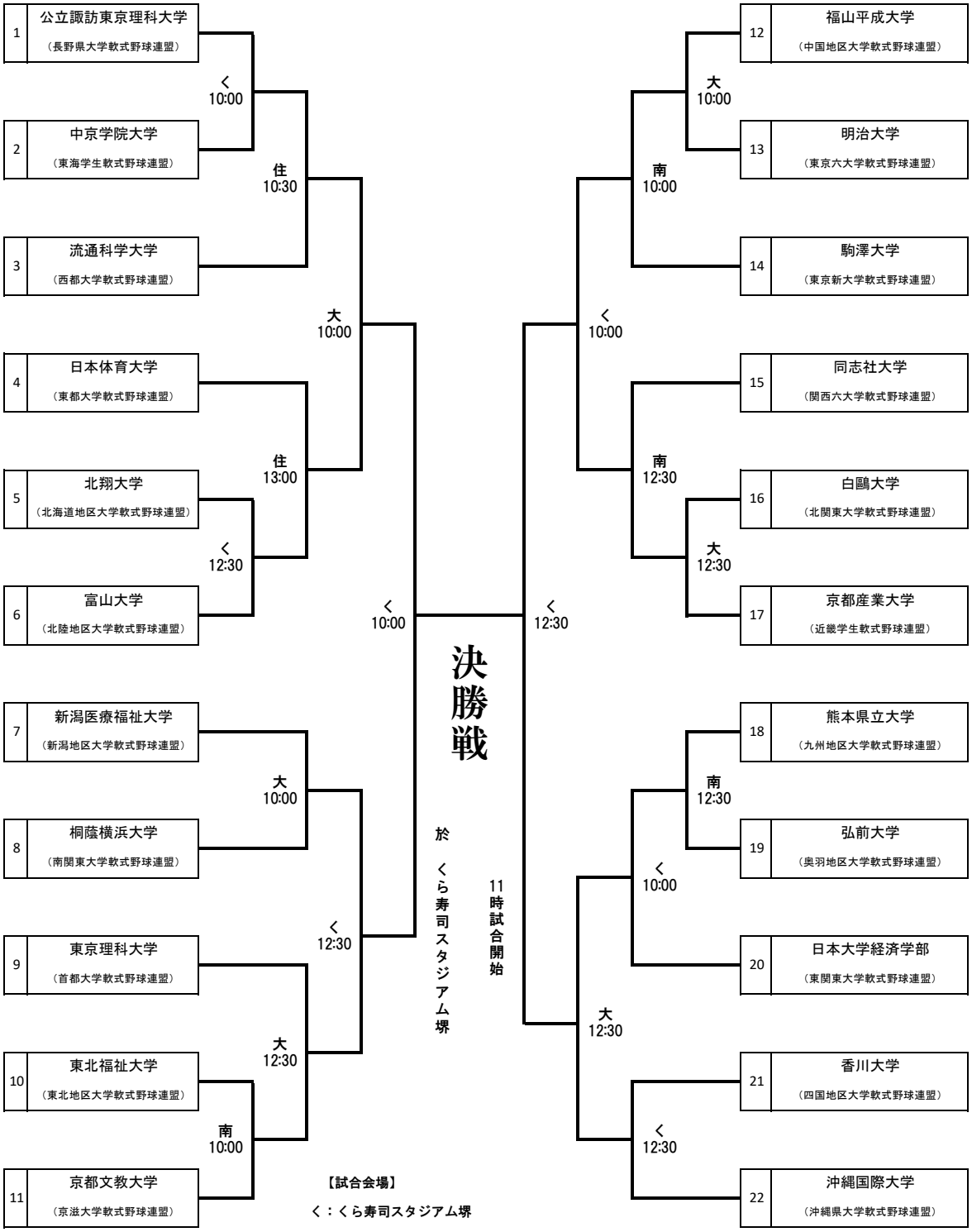
以上

第49回全日本大学軟式野球選手権大会

令和8年11月15日（日）～20日（金）　※雨天順延21日(土)

閉会式：20日（金）決勝戦終了後　くら寿司スタジアム堺

16	17	18	19	20	19	18	17	16
（月）	（火）	（水）	（木）	（金）	（木）	（水）	（火）	（月）



【試合会場】

く：くら寿司スタジアム堺

大：大阪シティ信用金庫スタジアム

南：GOSANDO南港野球場

住：住之江公園野球場

くら寿司スタジアム堺（原池公園野球場）

〒599-8251　大阪府堺市中区平井411
TEL：072-242-7059

●南海電鉄泉北線『深井』駅　徒歩約20分
●南海バス 久世小学校前から徒歩約10分
●南海バス 天の橋から徒歩約5分



大阪シティ信用金庫スタジアム（舞洲ベースボールスタジアム）

〒554-0042 大阪府大阪市此花区北港緑地2丁目3-142
TEL：06-6460-1011

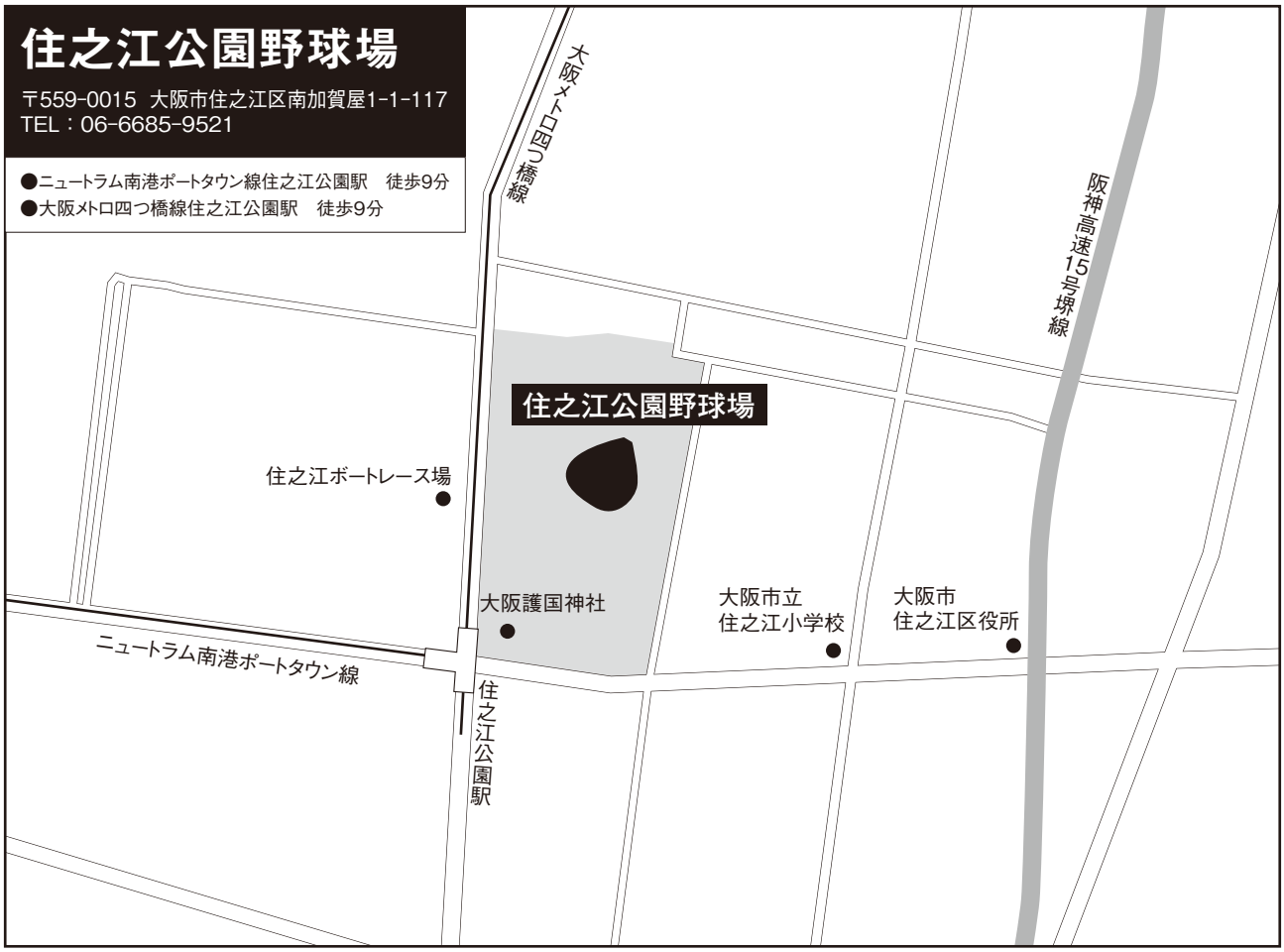
●JR桜島駅よりアクティブバスを利用し「ベースボールスタジアム前」下車
●JR西九条駅から 市営バス81系統 舞洲スポーツアイランド行「舞洲中央」下車
●大阪メトロコスモスクエア駅から コスモドリームライン(3系統)を利用し「ベースボールスタジアム前」下車



住之江公園野球場

〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋1-1-117
TEL：06-6685-9521

●ニュートラム南港ポートタウン線住之江公園駅　徒歩9分
●大阪メトロ四つ橋線住之江公園駅　徒歩9分



GOSANDO 南港野球場（大阪市南港中央野球場）

〒559-0031　大阪市住之江区南港東8丁目5-132
TEL：06-6614-0549

●大阪メトロ四つ橋線「住之江公園」駅下車、乗り換え、ニュートラム「ポートタウン東」駅下車　徒歩10分
●大阪メトロ中央線「コスモスクエア」駅下車、乗り換え、ニュートラム「ポートタウン東」駅下車　徒歩10分



MEMO

第49回全日本大学軟式野球選手権大会
出場校一覧

〈北海道地区大学軟式野球連盟〉 北翔大学 ・・・・・・・・・・・・ 28
〈奥羽地区大学軟式野球連盟〉 弘前大学 ・・・・・・・・・・・・ 30
〈東北地区大学軟式野球連盟〉 東北福祉大学 ・・・・・・・・・・・・ 34
〈東京六大学軟式野球連盟〉 明治大学 ・・・・・・・・・・・・ 36
〈首都大学軟式野球連盟〉 東京理科大学 ・・・・・・・・・・・・ 40
〈東都大学軟式野球連盟〉 日本体育大学 ・・・・・・・・・・・・ 42
〈北関東大学軟式野球連盟〉 白鷗大学 ・・・・・・・・・・・・ 44
〈東関東大学軟式野球連盟〉 日本大学経済学部 ・・・・・・・・・・・・ 46
〈南関東大学軟式野球連盟〉 桐蔭横浜大学 ・・・・・・・・・・・・ 48
〈東京新大学軟式野球連盟〉 駒澤大学 ・・・・・・・・・・・・ 50
〈新潟地区大学軟式野球連盟〉 新潟医療福祉大学 ・・・・・・・・・・・・ 54
〈長野県大学軟式野球連盟〉 公立諏訪東京理科大学 ・・・・・・・・・・・・ 56
〈北陸地区大学軟式野球連盟〉 富山大学 ・・・・・・・・・・・・ 58
〈東海学生軟式野球連盟〉 中京学院大学 ・・・・・・・・・・・・ 60
〈近畿学生軟式野球連盟〉 京都産業大学 ・・・・・・・・・・・・ 62
〈関西六大学軟式野球連盟〉 同志社大学 ・・・・・・・・・・・・ 64
〈西都大学軟式野球連盟〉 流通科学大学 ・・・・・・・・・・・・ 68
〈京滋大学軟式野球連盟〉 京都文教大学 ・・・・・・・・・・・・ 70
〈中国地区大学軟式野球連盟〉 福山平成大学 ・・・・・・・・・・・・ 72
〈四国地区大学軟式野球連盟〉 香川大学 ・・・・・・・・・・・・ 74
〈九州地区大学軟式野球連盟〉 熊本県立大学 ・・・・・・・・・・・・ 76
〈沖縄県大学軟式野球連盟〉 沖縄国際大学 ・・・・・・・・・・・・ 78

北翔大学

北海道江別市文京台23番地

北海道地区大学軟式野球連盟
3年連続　5回目

部長	野戸谷　睦	監督	野戸谷　睦	コーチ	鈴木　泰司	コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	勝浦　力哉	カツウラ　リキヤ	3	生涯スポーツ	札幌山の手
2		谷脇　隼斗	タニワキ　ハヤト	4	生涯スポーツ	札幌国際情報
3		下川　一真	シモカワ　イッシン	3	生涯スポーツ	静内
4		三浦　響	ミウラ　ヒビキ	3	生涯スポーツ	札幌山の手
5	17	吉川　悠翔	ヨシカワ　シュウト	3	生涯スポーツ	恵庭南
6		野口　義真	ノグチ　ヨシマサ	3	生涯スポーツ	鵡川
7		青木　善	アオキ　ゼン	3	生涯スポーツ	函館大学附属柏稜
8		小南　真之介	コミナミ　シンノスケ	3	生涯スポーツ	とわの森三愛
9	18	中村　悠剛	ナカムラ　ユウゴウ	3	生涯スポーツ	札幌新陽
10		後藤　直己	ゴトウ　ナオキ	3	生涯スポーツ	札幌龍谷
11		佐々木　陽太	ササキ　ヨウタ	3	生涯スポーツ	札幌新陽
12		白神　壮梧	シラカミ　ソウゴ	3	生涯スポーツ	札幌厚別
13		長山　汰樹	ナガヤマ　タイキ	3	生涯スポーツ	北見緑陵
14	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	近藤　あかね	コンドウ　アカネ	3	教育文化	札幌西陵
15		川口　輝	カワグチ　アキラ	2	生涯スポーツ	札幌稲雲
16		伊藤　楓良	イトウ　ソラ	2	生涯スポーツ	札幌龍谷
17		成澤　柊弥	ナリサワ　トウヤ	2	生涯スポーツ	札幌第一
18		飯沼　賢太	イイヌマ　ケンタ	2	生涯スポーツ	札幌平岡
19		野呂　拓海	ノロ　タクミ	2	生涯スポーツ	札幌山の手
20	15	菊池　朝陽	キクチ　アサヒ	1	生涯スポーツ	大麻
21	16	竹村　瑛太	タケムラ　エイタ	1	生涯スポーツ	札幌龍谷
22		丹羽　秀斗	ニワ　シュウト	1	生涯スポーツ	星槎国際帯広
23		林　怜夢	ハヤシ　レム	1	生涯スポーツ	札幌北陵
24		吉根　栞己	ヨシネ　シキ	1	生涯スポーツ	石狩南
25		佐藤　利都	サトウ　リツ	1	生涯スポーツ	網走南が丘
26		高橋　侑汰	タカハシ　ユウタ	1	生涯スポーツ	札幌英藍
27		田渕　瑠珈	タブチ　ルカ	1	生涯スポーツ	札幌藻岩
28	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	大西　乃英	オオニシ　ノエ	1	生涯スポーツ	札幌藻岩
29	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	酒井　麻琴	サカイ　マコト	1	生涯スポーツ	札幌龍谷
30	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	三浦　向葵	ミウラ　アオイ	1	教育文化	網走南が丘
31	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	宮下　凛花	ミヤシタ　リンカ	1	生涯スポーツ	網走南が丘
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5 戦	4 勝	1 敗	分

○	6	－ 4	対	札幌国際大学		－	対
○	8	－ 3	対	北星学園大学		－	対
○	12	－ 4	対	北海道教育大学旭川校		－	対
●	2	－ 14	対	北海道医療大学		－	対
○	7	－ 3	対	北海学園大学		－	対
		－	対			－	対
		－	対			－	対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	18	中村 悠剛	22⅔	3	0	4.38
2	15	菊池 朝陽	9⅓	1	0	9.64
3	16	竹村 瑛太	2	0	0	13.50
4	17	吉川 悠翔	2	0	1	13.50
5						

試合数	打率	本塁打
5	0.245	3
犠打	盗塁	失策
2	6	6
防御率	奪三振	盗塁阻止率
6.92	10	－

連盟からのコメント

秋季大会の開催においてご尽力いただいた皆様に、北海道地区大学軟式野球連盟一同、厚く御礼申し上げます。
また、現地に足を運んでくださった皆様、そしてたくさんの温かい応援コメントをお寄せいただいた皆様にも、心より御礼申し上げます。
今回、代表校となった北翔大学は、エースの中村選手と1年の菊池選手を中心に相手打線の猛攻をしのぎ、攻撃ではリーグ戦で2本塁打を記録した三浦選手をはじめ、打率3割を超える選手を4人擁する強力打線で勝ち進みました。
「強打の北翔」らしい野球で、全国制覇を成し遂げてくれることを期待しています。

北海道地区大学軟式野球連盟
前委員長　中本 堅太

チームからのコメント

春季大会では3位という悔しい結果に終わりましたが、その悔しさを忘れず、チーム全員で練習に取り組んできました。秋季大会では、一人ひとりが自分の役割を果たし、全員野球で３年連続優勝と全国大会への出場を決めることができました。全国大会では、日頃から支えてくれる方々への感謝を胸に、北海道代表としての誇りを持って戦います。出場できなかった他大学の分まで背負い、北海道の大学軟式野球を代表して全国で一つでも多く勝利をつかみたいです。

主将　勝浦 力哉

弘前大学

青森県弘前市文京町1

奥羽地区大学軟式野球連盟
2年連続　5回目

部長	石田　裕宜	監督	富樫　源太	コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	渡邊　俊平	ワタナベ　シュンペイ	2	教育	秋田南
2	7	岸　航大	キシ　コウダイ	4	人文社会	千歳
3	15	岩崎　渉吾	イワサキ　ショウゴ	4	人文社会	帯広三条
4	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	菅原　凛	スガワラ　リン	4	教育	一関第一
5	17	前佛　倖多	ゼンブツ　コウタ	4	人文社会	帯広三条
6	55	戸田　遥斗	トダ　ハルト	4	人文社会	弘前南
7	57	舟川　秀一	フナカワ　シュウイチ	4	理工	矢板東
8	11	中村　宥太	ナカムラ　ユウタ	4	教育	札幌月寒
9	8	中村　亮太	ナカムラ　リョウタ	4	人文社会	札幌新川
10	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	鳴海　朋花	ナルミ　トモカ	4	人文社会	五所川原
11	18	柳川　航大	ヤナガワ　コウタ	4	人文社会	札幌月寒
12	5	吉田　楓汰	ヨシダ　フウタ	4	人文社会	北広島
13	16	安宅　柊	アタカ　シュウ	3	農学生命	札幌啓成
14	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	岩城　真歩	イワキ　マホ	3	人文社会	札幌啓成
15	44	小山　瑞樹	オヤマ　ミズキ	3	人文社会	弘前
16	22	菊池　穂喬	キクチ　ホタカ	3	農学生命	札幌啓成
17	4	木村　颯志	キムラ　ソウシ	3	理工	弘前南
18	37	工藤　優輝	クドウ　ユウキ	3	理工	弘前南
19	3	塩崎　琉央	シオザキ　リオ	3	理工	釧路湖陵
20	48	柴谷　悠斗	シバヤ　ユウト	3	人文社会	五所川原
21	13	高田　悠馬	タカダ　ユウマ	3	理工	札幌日大
22	36	長屋　颯太	ナガヤ　ソウタ	3	理工	釧路江南
23	50	早田　陽春	ハヤタ　ヨウシュン	3	教育	苫小牧東
24	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	平井　桜	ヒライ　サクラ	3	教育	弘前中央
25	14	牧野　巧暉	マキノ　コウキ	3	理工	札幌北
26	51	松村　遥斗	マツムラ　ハルト	3	理工	札幌第一
27	42	松本　隼輝	マツモト　トシキ	3	医	北広島
28	33	村田　大	ムラタ　マサル	3	理工	えりも
29	32	山田　陽輝	ヤマダ　ハルキ	3	理工	北広島
30	66	阿部　耕大	アベ　コウタ	2	教育	大館鳳鳴
31	25	磯　光流	イソ　ヒカル	2	理工	大田原
32	39	井手　琉音	イデ　リュウト	2	理工	花巻北
33	12	笠井　十愛	カサイ　トア	2	理工	室蘭栄
34	20	柏木　滉瑛	カシワギ　コウエイ	2	農学生命	三沢
35	21	木谷　曜大	キヤ　ヨウダイ	2	農学生命	市立函館
36	9	久保　快仁	クボ　カイト	2	農学生命	弘前中央
37	19	佐藤　陽仁	サトウ　ハルヒト	2	人文社会	能代
38	23	馬場　雄之	ババ　カズユキ	2	理工	橘
39	16	松尾　央斗	マツオ　ヒロト	2	農学生命	札幌光星
40	60	三宅　康生	ミヤケ　コウセイ	2	理工	苫小牧東
41	2	山田　啓斗	ヤマダ　ヒロト	2	農学生命	北見柏陽
42	26	吉田　璃央	ヨシダ　リオ	2	人文社会	八戸工業大学第一
43	14	相原　拓実	アイハラ　タクミ	1	人文社会	札幌北
44	34	揚野　敢之介	アゲノ　カンノスケ	1	理工	須磨学園夙川
45	24	泉浦　尊	イズミウラ　タケル	1	人文社会	札幌月寒
46	7	上岡谷　孝宏	カミオカヤ　タカヒロ	1	農学生命	盛岡北
47	56	菊池　徹平	キクチ　テッペイ	1	人文社会	大子清流
48	49	塩島　遼太朗	シオジマ　リョウタロウ	1	農学生命	楠隼
49	41	長谷川　遼	ハセガワ　リョウ	1	医	札幌月寒
50	52	畠山　知香人	ハタケヤマ　チカト	1	農学生命	金足農業

	背番号	氏　　名	氏名フリガナ	学年	学　　部	出　身　校
51	6	細谷　元希	ホソヤ　ゲンキ	1	人文社会	札幌光星
52	22	松本　心来	マツモト　ミライ	1	理工	前橋南
53						
54						
55						
56						
57						
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

5 戦	4 勝	1 敗	分

●	5	−	8	対	北里大学獣医学部		−	対
○	8	−	3	対	八戸工業大学		−	対
○	11×	−	3	対	八戸学院大学		−	対
○	6	−	4	対	秋田大学		−	対
○	11×	−	4	対	八戸学院大学		−	対
		−		対			−	対
		−		対			−	対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	14	相原 拓実	3⅔			0.00
2	19	佐藤 陽仁	15⅓	2		4.57
3	26	吉田 璃央	5⅓	1		5.66
4	37	工藤 優輝	15⅔	1	1	7.69
5						

試合数	打率	本塁打
5	0.376	2
犠打	盗塁	失策
0	11	6
防御率	奪三振	盗塁阻止率
4.95	49	0.10

連盟からのコメント

はじめに、大会の開催にあたりご協力いただきました各大学の連盟委員を中心とした皆様、審判員の皆様、球場の皆様、ありがとうございました。皆様の多大なるご協力を賜り、奥羽地区予選を円滑に進めることができ、大変感謝しております。今後とも、奥羽地区大学軟式野球連盟のことをよろしくお願いいたします。
優勝いたしました弘前大学は、接戦の北ブロックを勝ち抜き、決勝トーナメントも強力な打線、投手が活躍いたしました。大阪の地でもぜひ弘前大学の名前を轟かせていただきたく思います。

奥羽地区連盟委員長　時田 太輝

チームからのコメント

秋季予選では、チームとして目標に掲げていた秋連覇を達成することができました。目標を達成することができたのは、一年生から四年生まで全員で一つの勝利に向かってプレーすることができていたからだと思います。全国大会では、もう一度チーム一丸となり、応援してくださる方々のためにも奥羽地区を代表しているという気持ちを忘れずに堂々とした戦いを見せられるよう、精一杯取り組みます。応援よろしくお願い致します。

弘前大学　主将　渡邊 俊平

MEMO

東北福祉大学

東北地区大学軟式野球連盟
4年連続　25回目

宮城県仙台市青葉区国見1丁目8－1

部長	阿部　靖彦	監督	富樫　純平	コーチ	繁田　悠斗	コーチ	高部　凜	ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出身校
1	10	大沼　琉玖	オオヌマ　リュウク	3	総合福祉	作新学院
2	11	中野　泰智	ナカノ　タイチ	4	総合福祉	鶴岡東
3	18	福島　綾人	フクシマ　アヤト	4	総合福祉	作新学院
4	2	大場　悠汰	オオバ　ユウタ	4	総合福祉	東北
5	51	谷地　宏太	ヤチ　コウタ	4	総合福祉	鶴岡東
6	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	沓澤　綸	クツザワ　リン	4	総合福祉	湯沢
7	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	水本　華蓮	ミズモト　カレン	4	教育	福島成蹊
8	90	及川　諒也	オイカワ　マサヤ	3	総合福祉	花巻東
9	1	佐々木　唯天	ササキ　ユイマ	3	総合福祉	花巻東
10	13	伊藤　海琉	イトウ　カイリ	3	総合福祉	利府
11	3	伊部　隼太	イベ　シュンタ	3	総合福祉	聖和学園
12	39	大槻　周也	オオツキ　シュウヤ	3	健康科学	塩釜
13	5	佐々木　新太	ササキ　アラタ	3	総合福祉	利府
14	6	髙橋　瑛士	タカハシ　エイジ	3	総合福祉	聖和学園
15	24	髙山　誠匠	タカヤマ　セイショウ	3	総合福祉	利府
16	7	千葉　琥太朗	チバ　コタロウ	3	総合福祉	利府
17	9	村松　鷹	ムラマツ　タカ	3	総合マネジメント	三浦学苑
18	16	横田　大輝	ヨコタ　ダイキ	3	健康科学	利府
19	32	菅原　瑞輝	スガワラ　ミズキ	2	総合福祉	能代
20	27	髙橋　悠佑	タカハシ　ユウスケ	2	総合福祉	泉松陵
21	8	添田　寿	ソエダ　ヒサシ	2	健康科学	黒沢尻北
22	14	大沼　陸	オオヌマ　リク	2	健康科学	山形中央
23	55	鎌田　健眞	カマタ　ケンシン	2	総合福祉	花巻東
24	42	工藤　晃斗	クドウ　アキト	2	総合福祉	能代
25	58	遠藤　瞬弥	エンドウ　シュンヤ	2	健康科学	東北学院榴ケ岡
26	25	千葉　日向	チバ　ヒュウガ	2	総合福祉	宮城広瀬
27	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	大下　萌波	オオシタ　モナミ	2	健康科学	八戸
28	4	鈴木　幸生	スズキ　コウセイ	1	総合福祉	秋田商業
29	77	大竹　航太郎	オオタケ　コウタロウ	1	総合福祉	仙台城南
30	99	佐藤　瑠星	サトウ　リュウセイ	1	共生まちづくり	花巻東
31	12	佐川　裕基	サガワ　ユウキ	1	総合福祉	鉾田第一
32	63	本郷　瑠音	ホンゴウ　ルイト	1	共生まちづくり	仙台商業
33	22	橋間　功貴	ハシマ　コウキ	1	総合福祉	山形中央
34	34	山路　進介	ヤマジ　シンスケ	1	総合福祉	仙台城南
35	37	村形　謙太	ムラカタ　ケンタ	1	共生まちづくり	能代
36	33	宇部　智也	ウベ　トモヤ	1	健康科学	久慈
37	44	鈴木　幸心	スズキ　コウシ	1	健康科学	東北学院榴ケ岡
38	35	伊藤　輝人	イトウ　キラト	1	共生まちづくり	仙台商業
39	23	菊地　大翔	キクチ　ヒロト	1	総合福祉	仙台育英
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5	戦	5	勝		敗		分

○	2	−	6	対	仙台大学		−	対
○	5	−	9	対	東北学院大学		−	対
○	2	−	10×	対	山形大学		−	対
○	0	−	10×	対	東北大学		−	対
○	4	−	3	対	仙台大学		−	対
		−		対			−	対
		−		対			−	対

投手成績

	背番号	氏　名	回　数	勝	敗	防御率
1	11	中野　泰智	3	1		3.00
2	13	伊藤　海琉	1			0.00
3	18	福島　綾人	16⅓	1		3.30
4	90	及川　諒也	19⅔	3		0.91
5						

試合数	打率	本塁打
5	0.29	5
犠打	盗塁	失策
3	11	3
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.77	32	0.50

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。
東北福祉大学は、今夏長野県で開催された、全日本選抜大会優勝の勢いのまま、今大会の東北地区予選決勝まで勝ち上がりました。決勝戦では、3点のビハインドの中、終盤での劇的な逆転満塁ホームランで優勝し、出場を決めました。強力な投手陣に加え、長打もありゴロでの進塁打もありと繋がりある打撃陣が持ち味です。夏に続いての全国優勝を期待しています。

東北地区大学軟式野球連盟　理事長　鈴木 勝博

チームからのコメント

初めに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。秋季リーグ戦では、厳しい場面が幾度となくあったものの、チーム一丸となって「勝つこと」に貪欲に戦い抜いてきました。東北地区の代表の名に恥じないように一戦一戦全力でプレーします。
今回の大会でも、日頃より軟式野球部を支えてくださっている学校関係者の皆様、そして応援してくださるすべての方々への感謝の気持ちを胸に、東北福祉大学らしく全力プレーで挑みます。

東北福祉大学　主将　大沼 琉玖

明治大学

東京六大学軟式野球連盟
2年ぶり　15回目

東京都千代田区神田駿河台1－1

部長	土方　圭	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出身校
1	10	湯澤　太基	ユザワ　タイキ	3	経営	都立小山台
2	22	桶　皓士郎	オケ　コウシロウ	4	法	都立小山台
3	11	小林　巧人	コバヤシ　タクト	3	法	仙台育英
4	20	野瀬　一暁	ノセ　カズアキ	3	政治経済	明治大学付属中野
5	36	江本　晃	エモト　ヒカル	3	法	南山
6	19	西田　迅	ニシダ　ジン	3	法	東山
7	17	加藤　風雅	カトウ　フウガ	3	政治経済	都立小山台
8	5	笹嶋　隼仁	ササジマ　ジュント	3	政治経済	宝仙学園
9	25	後岡　壮	セトオカ　ソウ	3	経営	鎌倉学園
10	18	原田　一優	ハラダ　カズヤ	3	政治経済	朋優学院
11	1	矢野　史皓	ヤノ　フミアキ	3	政治経済	明治大学付属中野
12	26	内田　慧登	ウチダ　ケイト	3	政治経済	水戸第一
13	31	篠﨑　恵友	シノザキ　ケイト	3	法	明治大学付属八王子
14	4	須長　琉偉	スナガ　ルイ	3	文	川越東
15	2	平原　優紀	ヒラハラ　ユウキ	3	法	県立相模原
16	41	吉田　直生	ヨシダ　ナオキ	3	政治経済	都立豊多摩
17	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	岩本　夏美	イワモト　ナツミ	3	法	都立三田
18	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	大田　結月	オオタ　ユヅキ	3	法	三重
19	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	千種　瑠美	チグサ　ルミ	3	法	都立三田
20	24	浅島　健吾	アサジマ　ケンゴ	2	理工	都立小山台
21	96	加藤　遼馬	カトウ　リョウマ	2	情報コミュニケーション	都立文京
22	54	薩摩　泰成	サツマ　タイセイ	2	理工	都立小山台
23	14	舘野　遥陽	タテノ　ハルヒ	2	政治経済	都立小山台
24	51	新島　優	ニイジマ　ユウ	2	政治経済	國學院
25	3	秋山　知宣	アキヤマ　トモノブ	2	経営	鎌倉学園
26	8	天野　壮	アマノ　ソウ	2	法	県立秋田
27	61	石井　健大	イシイ　ケンタ	2	文	関東第一
28	57	喜多村　詩音	キタムラ　シオン	2	政治経済	市立舟入
29	66	小谷野　竜誠	コヤノ　リュウセイ	2	政治経済	高輪
30	23	佐藤　晴空	サトウ　ハルク	2	文	県立秋田南
31	37	清水　夏輝	シミズ　ナツキ	2	商	県立原町
32	15	田辺　琉衣	タナベ　ルイ	2	政治経済	県立秦野
33	99	谷水　琉穏	タニミズ　リオン	2	国際日本	都立文京
34	35	富岡　遼士	トミオカ　リョウジ	2	法	上田染谷丘
35	33	三澤　慎太郎	ミサワ　シンタロウ	2	政治経済	本庄東
36	40	籾山　大次郎	モミヤマ　ダイジロウ	2	情報コミュニケーション	都立桜町
37	81	青木　涼亮	アオキ　リョウスケ	2	商	山形商業
38	34	上甲　京興	ジョウコウ　タカオキ	2	政治経済	明治大学付属明治
39	7	髙岡　将大	タカオカ　マサヒロ	2	経営	明治大学付属八王子
40	79	二田　啓道	ニタ　ヒロミチ	2	商	市立東
41	13	山口　偉瑳	ヤマグチ　イサ	2	政治経済	市立稲毛
42	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	藤山　香晴	フジヤマ　コハル	2	情報コミュニケーション	拓殖大学第一
43	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	若林　沙奈	ワカバヤシ　サナ	2	文	昭和女子大学附属昭和
44	70	久民　幌太郎	クタミ　コウタロウ	1	法	安田学園
45	71	髙階　稀代	タカシナ　キダイ	1	文	県立秋田
46	72	石渡　雅崇	イシワタ　マサタカ	1	法	明治大学付属中野
47	73	塚本　凌大	ツカモト　リョウタ	1	法	都立昭和
48	74	中山　太惺	ナカヤマ　タイセイ	1	法	野沢北
49	75	松井　瞭	マツイ　リョウ	1	法	筑波大学附属駒場
50	76	向井　廉太朗	ムカイ　レンタロウ	1	文	都立新宿

	背番号	氏　　名	氏名フリガナ	学年	学　　部	出　身　校
51	77	小鯛　樟	コダイ　ショウ	1	法	都立北園
52	78	小林　清琉	コバヤシ　キヨル	1	政治経済	茨城
53	80	安田　行希	ヤスダ　コウキ	1	商	鎌倉学園
54	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	秋山　蓮佳	アキヤマ　レンカ	1	文	都立総合芸術
55	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	濱田　奏	ハマダ　カナ	1	法	都立新宿
56						
57						
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

10 戦 7 勝 3 敗 分

○	3	− 2	対 法政大学	○	6	− 3	対 早稲田大学
●	1	− 2	対 立教大学	○	9	− 2	対 法政大学
○	1	− 0	対 慶應大学	○	4	− 0	対 慶應大学
●	6	− 11	対 東京大学			−	対
○	8	− 2	対 立教大学			−	対
○	4	− 3	対 東京大学			−	対
●	0	− 1	対 早稲田大学			−	対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	22	桶 皓士郎	36⅓	3	1	0.99
2	24	浅島 健吾	20⅓	1	0	0.00
3	14	舘野 遥陽	19⅔	3	2	2.84
4	18	原田 一優	10⅓	0	0	4.35
5						

試合数	打率	本塁打
10	0.2	1
犠打	盗塁	失策
11	10	15
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.74	48	0.33

連盟からのコメント

まず初めに、第49回全日本大学軟式野球選手権大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げます。東京六大学軟式野球連盟の熾烈な優勝争いはリーグ最終戦にまで及びましたが、明治大学が優勝を掴み取りました。リーグで最小の失点数を誇る安定した投手陣を中心に、第42回大会以来の初戦突破を目指して戦ってきていただきたいです。この選手権大会を終えて引退する3，4年生もいると思いますので、最後のプレーまで全力で野球を楽しみながら最高峰の舞台を味わえることを願っております。そして、大学や大会関係者、家族、様々な方達へ感謝の気持ちを抱きながら試合に臨んでいただきたいです。

東京六大学軟式野球連盟委員長　鹿野 陽大

チームからのコメント

春季リーグ戦では2位と悔しい結果に終わってしまいました。私たちはこの悔しさを糧に、3年生を中心に一から自分たちの弱さと向き合い成長を重ねてきました。迎えた秋季リーグ戦では強力な投手陣を軸に、粘り強く戦い優勝という最高の結果を手にすることができました。昨年の全国大会での悔しさを晴らすべく、初戦突破し、全国制覇を目指して頑張ります。最高の仲間と最高の舞台で野球ができることに感謝して、東京六大学の代表として正々堂々と戦います。

明治大学　主将　湯澤 太基

MEMO

東京理科大学

東京都新宿区神楽坂1－3

首都大学軟式野球連盟
初出場

部長	岩澤　佳太	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	大橋　利玖	オオハシ　リク	3	工	広島大学附属福山
2	64	小椋　勝也	オグラ　カツヤ	4	先進工	福島成蹊
3	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	澤田　碧	サワダ　アオイ	4	経営	成蹊
4	47	小澤　一徹	オザワ　イッテツ	3	先進工	正智深谷
5	11	友井　翔太	トモイ　ショウタ	3	先進工	八王子東
6	9	高橋　優希	タカハシ　ユウキ	3	理	黒沢尻北
7	7	関根　啓介	セキネ　ケイスケ	3	理	桐蔭学園中等教育学校
8	77	林　光	ハヤシ　ヒカル	3	工	芝
9	33	望月　元喜	モチヅキ　モトキ	3	理	西
10	99	梶原　風谷	カジワラ　フウヤ	3	先進工	駒澤大学
11	42	川島　聡伸	カワシマ　ソウシン	3	理	成城
12	39	菊池　遥大	キクチ　ハルト	3	工	平塚学園
13	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	丸山　景	マルヤマ　ケイ	3	経営	小松川
14	25	内村　昊平	ウチムラ　コウヘイ	2	薬	明治学院東村山
15	48	川越　輝	カワゴエ　テル	2	理	暁星
16	1	西郷　隆成	サイゴウ　タカナリ	2	経営	須磨学園
17	18	水野　和麻	ミズノ　カズマ	2	先進工	東北学院
18	41	安田　鵬南	ヤスダ　ユキト	2	理	千葉県立千葉
19	21	小口　陽成	オグチ　ヨウセイ	2	経営	朋優学院
20	2	唐橋　祐貴	カラハシ　ユウキ	2	工	多摩大学付属聖ヶ丘
21	6	木村　友哉	キムラ　トモヤ	2	工	福岡城南
22	34	金城　咲	キンジョウ　サク	2	理	相模原
23	14	杉本　壮	スギモト　ソウ	2	理	東大寺学園
24	73	鈴木　七海音	スズキ　ナミト	2	先進工	開智日本橋
25	55	塗師　拓真	ヌリシ　タクマ	2	先進工	明星
26	23	松原　佑樹	マツバラ　ユウキ	2	理	福岡大学附属大濠
27	12	稲井　好輝	イナイ　コウキ	2	工	攻玉社
28	8	青木　俊哉	アオキ　シュンヤ	2	経営	國學院大學久我山
29	54	綾部　憧	アヤベ　ショウ	2	経営	神奈川大学付属
30	32	大庭　瑞生	オオバ　ミズキ	2	先進工	久留米大学附設
31	63	緒方　駿一	オガタ　シュンイチ	2	薬	福岡大学附属大濠
32	75	黒田　進太朗	クロダ　シンタロウ	2	経営	明法
33	5	後藤　弘太郎	ゴトウ　コウタロウ	2	経営	鎌倉学園
34	81	杉本　逢成	スギモト　オウセイ	2	先進工	淑徳
35	3	渡辺　蓮	ワタナベ　レン	2	経営	山形南高校
36	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	細川　颯夏	ホソカワ　フウカ	2	理	日本大学
37	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	三浦　藍	ミウラ　アイ	2	理	大宮北
38	44	奥村　将太郎	オクムラ　ショウタロウ	1	工	日野台高校
39	24	林　洋希	ハヤシ　ヒロキ	1	工	星野
40	66	渡邉　健生	ワタナベ　ケンセイ	1	先進工	大宮
41	22	山﨑　隆太郎	ヤマザキ　リュウタロウ	1	薬	攻玉社
42	4	金村　翔太	カネムラ　ショウタ	1	先進工	逗子開成
43	51	佐々木　棟司	ササキ　トウジ	1	先進工	専修大学松戸
44	17	中里　漱也	ナカザト　ソウヤ	1	先進工	逗子開成
45	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	加藤　愛理	カトウ　アイリ	1	経営	桐蔭学園
46	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	中村　すみれ	ナカムラ　スミレ	1	経営	横浜平沼
47	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	原田　紗蘭	ハラダ　サラ	1	経営	開智
48	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	吹春　寛菜	フキハル　ヒロナ	1	理	明治大学付属明治
49						
50						



地区大会戦績

5 戦	4 勝	1 敗	分

○	9	−	1	対	東京学芸大学		
○	4	−	0	対	大東文化大学		
○	10	−	0	対	東京電機大学		
●	4	−	6	対	明星大学		
○	6	−	3	対	武蔵大学		
		−		対			
		−		対			

	−		対	
	−		対	
	−		対	
	−		対	
	−		対	
	−		対	
	−		対	

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	1	西郷 隆成	1⅓	0	0	0.00
2	10	大橋 利玖	9⅓	0	1	4.82
3	11	友井 翔太	15⅓	3	0	0.00
4	41	安田 鵬南	11⅔	1	0	0.82
5	47	小澤 一徹	1⅔	0	0	0.00

試合数	打率	本塁打
5	0.225	3
犠打	盗塁	失策
4	6	11
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.42	30	0.33

連盟からのコメント

まず初めに、本大会開催にご支援、ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。
長らく大東文化大学が牽引してきた当連盟ですが、今年は夏に武蔵大、秋に理科大が躍進し、稀に見る激戦の年となりました。理科大は、夏の悔しさをバネに見事な選手権出場となります。投打の要である安田・友井両選手を中心に、ぜひ全国制覇を狙って思い切り戦ってきてください！

首都大学軟式野球連盟　理事長　栗田 友太郎

チームからのコメント

大会の開催にあたり、ご尽力いただいた大会関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。
私たちは創部初のリーグ優勝を成し遂げ、4年ぶりに全国大会出場を果たしました。学年の垣根を越えて一丸となり、自分たちらしさ全開で一戦一戦、勝利を積み重ねます。

東京理科大学　主将　大橋 利玖

日本体育大学

東京都世田谷区深沢7－1－1

東都大学軟式野球連盟
3年連続　30回目

部長	福井　元	監督	豊住　悠馬	コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	今井　駿	イマイ　シュン	3	体育	中京
2		本多　祐太	ホンダ　ユウタ	3	児童スポーツ教育	昭和第一学園
3		沼宮内　隼人	ヌマクナイ　ハヤト	3	体育	日本体育大学柏
4		小林　大智	コバヤシ　ダイチ	3	体育	関根学園
5	32	小林　竜弥	コバヤシ　リュウヤ	3	児童スポーツ教育	日本体育大学荏原
6	13	鈴木　歩夢	スズキ　アユム	3	体育	足利
7		鈴木　優太朗	スズキ　ユウタロウ	3	スポーツマネジメント	三浦学苑
8		宅野　正悟	タクノ　セイゴ	3	体育	日本体育大学柏
9		平田　昌大	ヒラタ　ショウタ	3	スポーツ文化	羽咋工業
10		松岡　洲平	マツオカ　シュウヘイ	3	スポーツ文化	鶴岡東
11		秋葉　俊太	アキバ　シュンタ	3	スポーツマネジメント	日本体育大学柏
12		宇田川　椋平	ウダガワ　リョウヘイ	3	体育	暁星国際
13		金野　隼也	キンノ　ジュンヤ	3	体育	上尾
14		小池　永倭	コイケ　トウワ	3	体育	上尾
15		小泉　凱	コイズミ　カイ	3	スポーツ文化	日本体育大学柏
16		佐藤　日向	サトウ　ヒムカ	3	体育	あべの翔学
17		折田衛　聖	オリタエ　サトシ	2	スポーツマネジメント	習志野
18		滝童内　一吹	タキドウウチ　イブキ	2	体育	足立
19	18	橋本　泰成	ハシモト　タイセイ	2	スポーツマネジメント	習志野
20	14	渡辺　悠太	ワタナベ　ユウタ	2	体育	水戸第一
21		玉木　遼哉	タマキ　リョウヤ	2	体育	平塚学園
22		石井　悠翔	イシイ　ユウト	2	体育	日本体育大学柏
23		川上　裕輝	カワカミ　ユウキ	2	スポーツマネジメント	日本体育大学柏
24		清水　隆之介	シミズ　リュウノスケ	2	体育	中京
25		関　慧人	セキ　ケイト	2	スポーツ文化	八潮
26		中本　凌太	ナカモト　リョウタ	2	体育	藤嶺学園藤沢
27		村　柳二	ムラ　リュウジ	2	体育	岡山学芸館
28		伊藤　太郎	イトウ　タロウ	2	体育	日本体育大学柏
29		井藤　柊真	イトウ　シュウマ	2	体育	日本体育大学荏原
30		木暮　草汰	コグレ　ソウタ	2	体育	上尾
31		瀧浪　楓太	タキナミ　フウタ	2	スポーツマネジメント	光南
32		六川　航	ムカワ　ワタル	2	スポーツマネジメント	日本体育大学柏
33	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	西島　美波	ニシジマ　ミナミ	2	体育	普天間
34	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	保科　綾花	ホシナ　アヤカ	2	スポーツ文化	日本体育大学桜華
35		木村　龍司	キムラ　リュウジ	1	スポーツマネジメント	横浜商業
36		中嶋　元太	ナカジマ　ゲンタ	1	体育	錦城学園
37		伊藤　怜大	イトウ　レオ	1	スポーツマネジメント	横浜商業
38		佐野　颯翔	サノ　ハヤト	1	体育	赤穂
39		島田　圭太郎	シマダ　ケイタロウ	1	体育	藤嶺学園藤沢高校
40		武内　俊太	タケウチ　シュンタ	1	スポーツマネジメント	三浦学苑
41		野口　滉太	ノグチ　コウタ	1	体育	昭和第一学園
42		前島　健生	マエジマ　タケル	1	体育	流通経済大学付属柏
43		山口　慶悟	ヤマグチ　ケイゴ	1	スポーツマネジメント	川崎北
44		山田　尚弥	ヤマダ　ナオヤ	1	体育	あべの翔学
45		垣内　惺矢	カキウチ　セイヤ	1	体育	中京
46		堀内　星那	ホリウチ　セナ	1	体育	土浦日本大学
47	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	加賀谷　夢夏	カガヤ　ユナ	1	スポーツマネジメント	日本体育大学荏原
48	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	渡辺　さくら	ワタナベ　サクラ	1	体育	日本体育大学荏原
49						
50						



地区大会戦績

5 戦	5 勝	敗	分

○	16	− 9	対	国士舘大学		−	対
○	11	− 2	対	東京経済大学		−	対
○	6	− 0	対	青山学院大学		−	対
○	4	− 1	対	日本大学商学部		−	対
○	11	− 10	対	二松学舎大学		−	対
		−	対			−	対
		−	対			−	対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	18	橋本 泰成	23	3	0	1.95
2	10	今井 駿	7⅓	0	0	13.50
3	14	渡辺 悠太	6	1	0	4.50
4	13	鈴木 歩夢	2⅔	0	0	6.76
5	32	小林 竜弥	1	1	0	0.00

試合数	打率	本塁打
5	0.306	7
犠打	盗塁	失策
0	14	3
防御率	奪三振	盗塁阻止率
4.20	40	0.00

連盟からのコメント

第49回全日本大学軟式野球選手権大会の開催を心よりお慶び申し上げます。
東都大学軟式野球連盟代表として出場される日本体育大学の皆さんへ
夏の選抜大会での先輩方の想いを胸に、一戦一戦を大切にし、全国の舞台で存分に力を発揮してください。皆さんの健闘を心より祈念しています。

東都大学軟式野球連盟　理事長　相場 奨太

チームからのコメント

本大会の関係者の皆様、ならびに開催にご尽力くださった皆様に心より感謝申し上げます。今年も東都リーグ代表として出場させていただくこととなりました。チームスローガンとして「執念」を掲げております。打力を武器とする今年のチームは全員が勝利に対して貪欲に向き合い、執念で勝利をつかみ取るプレースタイルをお見せできるところが見どころです。大学軟式野球の発展と普及そして日頃より支えてくださっている皆様の思いを胸に戦います。応援よろしくお願いします。

日本体育大学　主将　今井 駿

白鷗大学

北関東大学軟式野球連盟
8年連続　18回目

栃木県小山市大行寺1117

部長	島田　剛	監督	金田　健史	コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	添田　羽琉	ソエタ　ハル	3	教育	須賀川桐陽
2	77	有馬　拓海	アリマ　タクミ	4	教育	鹿沼東
3	21	大塚　樹	オオツカ　イツキ	4	教育	宇都宮短期大学附属
4	19	横田　勇優	ヨコタ　ユウヤ	4	教育	水戸桜ノ牧
5	22	伊藤　海輝	イトウ　カイキ	4	教育	宇都宮南
6	31	朝武　叶夢	トモタケ　カナム	4	教育	久喜北陽
7	5	服部　颯人	ハットリ　ハヤト	4	教育	尚志
8	3	前田　龍之介	マエダ　リュウノスケ	4	法	那須拓陽
9	37	辻　瞬吏	ツジ　シュンリ	4	教育	宇都宮南
10	2	西野　修生	ニシノ　シュウ	4	教育	光南
11	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	齋藤　香奈	サイトウ　カナ	4	教育	宇都宮南
12	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	佐藤　咲月	サトウ　サツキ	4	教育	鶴岡南
13	13	長島　泰誠	ナガシマ　タイセイ	3	教育	白鷗大学足利
14	75	松尾　倖多	マツオ　コウタ	3	法	真岡
15	56	皆川　遼太	ミナカワ　リョウタ	3	教育	水戸桜ノ牧
16	55	坂田　佑介	サカタ　ユウスケ	3	教育	白鷗大学足利
17	15	武澤　昊希	タケザワ　コウキ	3	教育	勝田
18	99	箭内　望人	ヤナイ　ハルト	3	経営	白鷗大学足利
19	17	川崎　朝陽	カワサキ　アサヒ	3	経営	水戸商業
20	80	矢口　覇王	ヤグチ　ハオ	3	経営	水戸啓明
21	42	岡本　祐悟	オカモト　ユウゴ	2	教育	下妻第二
22	11	小林　翼	コバヤシ　ツバサ	2	経営	白鷗大学足利
23	48	齋藤　航大	サイトウ　コウダイ	2	法	國學院大學栃木
24	47	大丸谷　敬太	ダイマルヤ　ケイタ	2	教育	下妻第二
25	12	野本　智敏	ノモト　チハル	2	教育	古河中等教育学校
26	16	袴田　創也	ハカマタ　ソウヤ	2	教育	能代
27	41	小暮　太陽	コグレ　タイヨウ	2	教育	土浦第三
28	20	小林　晃大	コバヤシ　コウダイ	2	教育	多賀
29	38	佐々木　陽大	ササキ　ヨウタ	2	教育	福島成蹊
30	52	佐山　瑞來	サヤマ　ミズキ	2	経営	聖光学院
31	4	鈴木　拓海	スズキ　タクミ	2	経営	水城
32	7	荒井　良斗	アライ　リョウト	2	教育	宇都宮南
33	9	浦野　航輔	ウラノ　コウスケ	2	教育	白鷗大学足利
34	33	岡部　将英	オカベ　ショウエイ	2	教育	水戸桜ノ牧
35	26	滝田　悠真	タキタ　ユウマ	2	法	大田原
36	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	多田　ひかり	タダ　ヒカリ	2	教育	下館第二
37	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	古川　千菜	フルカワ　チナ	2	教育	会津
38	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	吉村　陽香	ヨシムラ　ハルカ	2	教育	小山西
39	27	佐々木　翔麻	ササキ　ショウマ	1	教育	館林
40	23	野口　豪之輔	ノグチ　ゴウノスケ	1	教育	小山
41	6	野口　稜斗	ノグチ　リョウト	1	教育	境
42	1	青木　慶斗	アオキ　ケイト	1	経営	水城
43	14	落合　瑛大	オチアイ　エイタ	1	法	宇都宮南
44	8	杉田　将真	スギタ　ショウマ	1	経営	岩瀬日本大学
45	39	髙橋　楓	タカハシ　カエデ	1	教育	新庄北
46	51	大沼　悠真	オオヌマ　ユウマ	1	教育	宇都宮南
47	32	佐藤　駿	サトウ　シュン	1	経営	須賀川桐陽
48	50	篠塚　翔	シノツカ　ショウ	1	法	宇都宮短期大学附属
49	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	余田　海音	ヨダ　ミオン	1	教育	佐渡
50	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	渡邉　帆乃夏	ワタナベ　ホノカ	1	教育	鹿島学園



地区大会戦績

5 戦	5 勝	敗	分

○	15×	− 5	対	宇都宮大学		−	対
○	10×	− 0	対	筑波大学		−	対
○	3	− 0	対	上武大学		−	対
○	9×	− 0	対	茨城大学		−	対
○	11×	− 0	対	国際医療福祉大学		−	対
		−	対			−	対
		−	対			−	対

投手成績

	背番号	氏 名	回数	勝	敗	防御率
1	1	青木 慶斗	2	1	0	0.00
2	11	小林 翼	7	1	0	0.00
3	13	長島 泰誠	3	1	0	0.00
4	75	松尾 倖多	5	1	0	0.00
5	77	有馬 拓海	13	2	0	0.00

試合数	打率	本塁打
5	0.239	3
犠打	盗塁	失策
1	30	4
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.06	27	0.00

連盟からのコメント

第４９回全日本大学軟式野球選手権大会の開催おめでとうございます。また開催にあたり御尽力いただいております関係者の皆様に心より感謝申し上げます。
北関東秋季リーグ戦も他を寄せ付けない圧倒的な強さで全勝優勝した白鷗大学。「１年生から４年生まで活躍するバランスの良い打線」「層の厚い多彩な投手陣」を武器に、４年振りの選手権大会制覇を期待しております。

北関東大学軟式野球連盟　理事長　菊池 安武

チームからのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただいております関係者の皆様に心より感謝申しあげます。
夏の全国大会では優勝を日指し戦い抜きましたが、3位という結果に終わってしまいました。この悔しさを糧にこれまでの隙のない機動力、守備から流れを作る野球をより洗練されたものとするため練習に励んできました。日頃から応援してくださる皆様への感謝の思いをもって、全員野球で必ず優勝旗を持ち帰ります。

白鷗大学軟式野球部　主将　添田 羽琉

日本大学経済学部

東京都千代田区神田三崎町1－3－2

東関東大学軟式野球連盟
2年ぶり　11回目

部長	野口　翔平	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	岩崎　友哉	イワサキ　トモヤ	3	経済	日本大学豊山
2	21	井上　裕陽	イノウエ　ユウヤ	4	経済	日本大学
3	41	落合　透也	オチアイ　トウヤ	4	経済	都立桜町
4	13	丹羽　浩太郎	ニワ　コウタロウ	4	経済	都立三田
5	6	前沢　和希	マエザワ　カズキ	4	文理	佐野日本大学
6	1	山根　智広	ヤマネ　トモヒロ	4	文理	日本大学豊山
7	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	萱野　文夏	カヤノ　フミカ	3	経済	日本大学鶴ヶ丘
8	43	木澤　卓也	キザワ　タクヤ	3	文理	市ヶ尾
9	9	谷越　結月	タニコシ　ユヅキ	3	文理	日本大学
10	8	奥永　悟生	オクナガ　サトキ	2	法	鎌倉学園
11	14	岸　恒介	キシ　コウスケ	2	経済	大社
12	7	工藤　優志	クドウ　アツシ	2	経済	佼成学園
13	27	佐藤　稜太	サトウ　リョウタ	2	経済	土浦日本大学
14	67	茂原　僚	シゲハラ　リョウ	2	経済	高崎
15	96	西村　幸大	ニシムラ　コウダイ	2	文理	習志野
16	68	濱川　隼	ハマカワ　ジュン	2	経済	立花学園
17	18	塙　雅巳	ハナワ　マサミ	2	危機管理	都立東村山
18	77	平田　銀士	ヒラタ　ギンジ	2	経済	淑徳巣鴨
19	23	藤村　胡太郎	フジムラ　コタロウ	2	文理	東洋大牛久
20	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	本多　彩乃	ホンダ　アヤノ	2	経済	國學院久我山
21	55	村上　偉将	ムラカミ　タケマサ	2	経済	浦和麗明
22	2	山口　哲平	ヤマグチ　テッペイ	2	経済	浜松日体
23	31	山下　修	ヤマシタ　シュン	2	経済	日本大学豊山
24	3	横山　航	ヨコヤマ　ワタル	2	文理	順天
25	56	久保　瑛輝	クボ　エイキ	1	経済	日本大学山形
26	66	中野　幸太郎	ナカノ　コウタロウ	1	文理	八千代松陰
27	42	峯岸　秀多	ミネギシ　シュウタ	1	文理	麻布大学附属
28	4	望月　颯来	モチヅキ　ソラ	1	経済	日本大学第三
29	11	若月　瞭真	ワカツキ　リョウマ	1	文理	百合丘
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

6 戦	6 勝	敗	分

○	14	− 2	対 上智大学			−	対
○	9	− 4	対 杏林大学			−	対
○	6	− 3	対 帝京大学			−	対
○	3	− 0	対 帝京科学大学			−	対
○	8	− 0	対 中央学院大学			−	対
○	3	− 2	対 城西国際大学			−	対
		−	対			−	対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	13	丹羽 浩太郎	22⅓	3		0.81
2	14	岸 恒介	14	1		1.58
3	21	井上 裕陽	10	2		3.00
4	41	落合 透也	4			4.50
5	43	木澤 卓也	⅔			0.00

試合数	打率	本塁打
6	0.218	0
犠打	盗塁	失策
4	17	11
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.24	51	0.14

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、準備から運営までご尽力いただいた大会関係者の皆様、そして日頃より選手を支えてくださる指導者・保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。
出場される皆さん、代表決定おめでとうございます。学業と両立しながら積み重ねてきた練習の日々、悔しさを分かち合い、声を掛け合ってきた仲間との時間が、皆さんをこの舞台へと導きました。ここまでの道のりこそが、何よりの財産です。
苦しい場面こそ、仲間とこれまでの自分を信じてください。東関東の代表としての誇りを胸に、一戦一戦を思い切り楽しんでください。連盟一同、心から応援しています！

東関東大学軟式野球連盟　理事長　和田 駿

チームからのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただいております大会関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。
本大会では、投手を中心に試合のリズムをつくり、攻撃へとつなげ、チーム一丸となって勝利を目指します。また、日頃よりご支援いただいている大学関係者の皆様、保護者の皆様、そしてOB・OGの皆様への感謝の気持ちをプレーで表現できるよう、全力で精進してまいります。

主将　岩崎 友哉

桐蔭横浜大学

神奈川県横浜市青葉区鉄町1614

南関東大学軟式野球連盟
4年連続　9回目

部長	鈴木　祐児	監督	寶代　一斗	コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ	山岸　勇楓	ﾄﾚｰﾅｰ	大塚　海翔

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	米倉　海七渡	ヨネクラ　カナト	2	現代教養学環	大森学園
2	17	田村　涼太	タムラ　リョウタ	4	スポーツ科学	厚木北
3	18	渡辺　千斗	ワタナベ　カズト	4	現代教養学環	立花学園
4	20	林　大耀	ハヤシ　タイヨウ	3	スポーツ科学	成立学園
5	9	高芝　聡太	タカシバ　ソウタ	3	スポーツ科学	相洋
6	6	青山　倖次郎	アオヤマ　コウジロウ	3	スポーツ科学	国士館
7	25	岡本　将輝	オカモト　マサキ	3	現代教養学環	武相
8	1	戸村　良和	トムラ　リョウワ	3	スポーツ科学	山形中央
9	2	堀口　寛太	ホリグチ　カンタ	3	スポーツ科学	済美
10	3	土屋　尊人	ツチヤ　タカト	3	スポーツ科学	関東第一
11	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	平栗　美紗		3	スポーツ科学	光明相模原
12	14	小澤　颯大	オザワ　ソウタ	2	スポーツ科学	八王子学園八王子
13	11	門倉　歩夢	カドクラ　アユム	2	法	新羽
14	43	巴　唯人	トモエ　ユイト	2	スポーツ科学	岸根
15	39	寶代　一斗	ホウダイ　イット	2	法	立花学園
16	27	猪野　昊介	イノ　コウスケ	2	法	立花学園
17	5	藤野　駿太	フジノ　シュンタ	2	スポーツ科学	藤沢清流
18	15	田中　眞仁	タナカ　マサヒト	1	スポーツ科学	立花学園
19	16	田村　拓永	タムラ　ヒロト	1	スポーツ科学	アレセイア湘南
20	49	村越　淳之介	ムラコシ　ジュンノスケ	1	スポーツ科学	金沢総合
21	37	熊澤　翔太	クマザワ　ショウタ	1	スポーツ科学	伊志田
22	99	安藤　翔倭	アンドウ　トワ	1	スポーツ科学	牛久
23	77	二宮　照	ニノミヤ　テル	1	法	アレセイア湘南
24	66	平田　一朗	ヒラタ　イチロウ	1	法	立花学園
25	24	増田　龍聖	マスダ　リュウセイ	1	法	相模原弥栄
26	55	渡邉　悠輝	ワタナベ　ハルキ	1	スポーツ科学	桐陽
27	8	秋山　悠斗	アキヤマ　ユウト	1	現代教養学環	相洋
28	51	内藤　碧汰	ナイトウ　アオタ	1	法	向上
29	26	邊見　晴汰	ヘンミ　セイタ	1	スポーツ科学	綾瀬
30	42	山﨑　蓮斗	ヤマザキ　レント	1	スポーツ科学	湘南学院
31	4	米原　巧真	ヨネハラ　タクマ	1	スポーツ科学	横浜
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

8 戦	7 勝	1 敗	分

17×	− 1	対	横浜市立大学
2	− 7	対	横浜商科大学
9	− 1	対	産業能率大学
5	− 4	対	東海大学
7	− 2	対	文教大学
7×	− 0	対	鶴見大学
不戦勝	−	対	明治大学
11×	− 1	対	健康科学大学
	−	対	
	−	対	
	−	対	
	−	対	
	−	対	
	−	対	

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	14	小澤 颯大	14			3.21
2	15	田中 眞仁	3			3.00
3	16	田村 拓人	4			0.00
4	18	渡辺 千斗	24⅔			1.82
5	20	林 大耀	2			4.50

試合数	打率	本塁打
7	0.270	5
犠打	盗塁	失策
5	21	16
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.67	51	0.714

連盟からのコメント

桐蔭横浜大学は、チームコメントにある通り個々の能力や個性を持ち、その力を１つに合わせて発揮できる強いチーム力があります。全国大会の常連校で、昨年の全国ではベスト４、今年のサマーカップではベスト８と、全国の舞台でも勝ちを積み重ねており、経験値と実力があるチームです。秋季の全国大会でも、個の力とそれを結束したチーム力で全国優勝を目指します。

チームからのコメント

まずは、本大会の開催・運営に尽力してくださる皆様、そして日頃から私たちを支えてくださる関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。
桐蔭横浜大学軟式野球部は「全員野球」を掲げ、一人ひとりが自分の役割を徹底し、チーム一丸となって全国大会優勝を目指してきました。昨年の秋季大会で初戦敗退した悔しさを忘れず、限られた環境の中でも自分たちの野球を貫き、全員が同じ目標に向かって努力を重ねてきました。新チームとなり、不安や困難もありましたが、苦しい場面でも我慢強く戦い、仲間とともに乗り越えてきました。これまで支えてくださった方々への感謝を忘れず、一人ひとりが自分の役割を果たし、チーム一丸となって戦います。そして、支えてくださる皆様に結果で恩返しができるよう、必ず全国優勝を成し遂げます。

駒澤大学

東京新大学軟式野球連盟
2年連続　9回目

東京都世田谷区駒沢1丁目23番地1号

部長	梶原　修作	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出身校
1	10	竹田　壱茶	タケダ　イッサ	3	GMS	駒澤大学
2	17	太田　康介	オオタ　コウスケ	3	法	白河
3	19	小林　宥太	コバヤシ　ユウタ	3	経済	碧南
4	22	角谷　大地	カドヤ　ダイチ	3	経済	青森商業
5	64	青田　七翔	アオタ　ナナト	3	法	駒澤大学
6	79	浅羽　晴斗	アサバ　ハルト	3	文	千葉敬愛
7	33	上野　晴生	ウエノ　ハルキ	3	法	駒澤大学
8	44	内山　治佳	ウチヤマ　ハルカ	3	文	鎌ヶ谷
9	37	宇都宮　光輝	ウツノミヤ　ヒカル	3	経済	駒澤大学
10	66	大洞　晶平	オオホラ　ショウヘイ	3	法	仙台東
11	63	亀田　学	カメダ　マナブ	3	法	駒澤大学
12	23	加茂野　正真	カモノ　ショウマ	3	経済	駒澤大学
13	3	田中　陽	タナカ　ミナミ	3	経営	駒澤大学
14	69	那須　幸矢	ナス　ユキヤ	3	経済	荏田
15	16	別所　宏樹	ベッショ　ヒロキ	3	経済	日本大学豊山
16	55	松下　知樹	マツシタ　トモキ	3	法	八王子学園八王子
17	67	渡部　柚月	ワタベ　ユズキ	3	文	仙台
18	56	天野　航希	アマノ　コウキ	3	経済	駒澤大学
19	14	今野　翔輔	コンノ　ショウスケ	3	文	船橋芝山
20	24	後藤　祥太	ゴトウ　ショウタ	3	経済	一関第一
21	1	鈴木　魁	スズキ　カイ	3	経済	調布南
22	46	丹下　雄太	タンゲ　ユウタ	3	経済	雪谷
23	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	久米　真理菜	クメ　マリナ	3	経済	東京都市大学等々力
24	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	小宮　真優	コミヤ　マユ	3	経営	駒澤大学
25	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	橋本　さくら	ハシモト　サクラ	3	法	浦和西
26	27	片岡　駿	カタオカ　シュン	2	法	東北学院
27	18	白木　秀明	シラキ　ヒデアキ	2	経済	駒澤大学
28	21	髙木　颯平	タカギ　ソウヘイ	2	GMS	駒澤大学
29	41	野寺　健介	ノデラ　ケンスケ	2	経済	駒澤大学
30	96	廣瀬　天翔	ヒロセ　テンショウ	2	法	駒澤大学
31	4	大沢　和士	オオサワ　カズシ	2	法	西武台
32	6	荒木　祐人	アラキ　ユウト	2	法	日野台
33	2	伊藤　康聖	イトウ　コウセイ	2	法	村上
34	12	小島　和記	コジマ　カズキ	2	法	正智深谷
35	5	金野　佑	コンノ　ユウ	2	経済	駒澤大学
36	45	髙城　雄一	タカシロ　ユウイチ	2	経営	駒澤大学
37	36	小沢　澄	オザワ　トオル	2	経済	川越南
38	9	鈴木　文士郎	スズキ　ブンシロウ	2	仏教	明星
39	60	鈴木　湧人	スズキ　ユウト	2	GMS	世田谷学園
40	99	鈴木　洋佑	スズキ　ヨウスケ	2	経営	日川
41	7	出口　誓一朗	デグチ　セイイチロウ	2	経営	札幌国際情報
42	8	長﨑　稜太	ナガサキ　リョウタ	2	経済	福井商業
43	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	奥冨　七帆	オクトミ　ナホ	2	法	大妻嵐山
44	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	斉藤　葵	サイトウ　アオイ	2	経済	向丘
45	13	後藤　歩輝	ゴトウ　イブキ	1	経済	広陵
46	31	長浜　寛人	ナガハマ　ヒロト	1	経済	雪谷
47	20	杉田　渚月	スギタ　ナツキ	1	法	小山台
48	73	川島　大智	カワシマ　タイチ	1	経済	栃木翔南
49	38	佐藤　泰瑛	サトウ　タイヨウ	1	経済	松が谷
50	51	須賀　太一	スガ　タイチ	1	法	成立学園

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出 身 校
51	32	原　寿桜	ハラ　ジュオウ	1	仏教	立花学園
52	61	池田　快志郎	イケダ　カイシロウ	1	文	市原中央
53	11	石塚　大志	イシツカ　タイシ	1	経営	つくば秀英
54	49	榎本　大輝	エノモト　ヒロキ	1	仏教	川越東
55	53	笠原　淑仁	カサハラ　ヨシヒト	1	文	川越東
56	74	佐藤　航瑛	サトウ　コウヨウ	1	経済	松が谷
57	50	島津　泰地	シマヅ　タイチ	1	文	桐朋
58	26	豊田　颯太郎	トヨダ　ソウタロウ	1	法	杉並学院
59	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	遠藤　梨緒	エンドウ　リオ	1	経営	駒澤大学
60	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	大塚　紗由	オオツカ　サユ	1	経営	駒澤大学
61	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	小山田　翼	オヤマダ　ツバサ	1	仏教	山手学院
62	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	鈴木　美藍	スズキ　ミラン	1	経済	武蔵越生
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

4 戦	4 勝	敗	分

○	5	−	0	対	東洋大学Ⅱ部		
○	15	−	0	対	國學院大学Ⅱ部		
○	18	−	2	対	東京理科大学Ⅱ部		
○	12	−	4	対	東京都立大学		
		−		対			
		−		対			
		−		対			

		−		対			
		−		対			
		−		対			
		−		対			
		−		対			
		−		対			
		−		対			

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	17	太田 康介	2⅔	0	0	0.00
2	18	白木 秀明	19	4	0	0.00
3	19	小林 宥太	1	0	0	0.00
4	66	大洞 晶平	⅓	0	0	0.00
5	96	廣瀬 天翔	3	0	0	6.00

試合数	打率	本塁打
4	0.327	5
犠打	盗塁	失策
4	11	8
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.08	29	

連盟からのコメント

この度は第49回全日本大学軟式野球選手権大会の開催、おめでとうございます。
また開催にあたり、ご尽力頂きました皆様に感謝申し上げます。
当連盟代表の駒澤大学は、安定した投手陣と固い守備から流れを作り、攻撃では繋がりのある打線が武器のチームです。
本大会でも攻守で自分たちのペースを掴み、一勝でも多く勝ち進んでいってくれることを願っています。
頑張って下さい。

東京新大学軟式野球連盟　理事長　金光 祐大

チームからのコメント

初めに、今大会の開催にあたりご尽力いただきました全ての関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。私たちのチームの持ち味は、投手陣を中心とした粘り強い守備です。どんな苦しい場面でも全員で声を掛け合い、一つひとつのアウトを丁寧に積み重ねることで試合の流れを引き寄せ、少ない好機を確実に得点へとつなげてまいります。応援してくださる皆様への感謝を胸に、最後まで全力でプレーし、一戦必勝で頂点を目指します。

駒澤大学軟式野球部　主将　竹田 壱茶

MEMO

新潟医療福祉大学

新潟県新潟市北区島見町1398

新潟地区大学軟式野球連盟
14年連続　18回目

部長	小池　大輔	監督	髙橋　尚汰	コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	堀田　翔己	ホリタ　ショウキ	2	健康科	福井工業大学付属福井
2	44	五十嵐　竜	イガラシ　リュウ	4	医療技術	羽黒
3	19	佐藤　陽眞	サトウ　ハルマ	4	健康科	村上桜ヶ丘
4	12	平野　感太	ヒラノ　カンタ	3	健康科	新潟商業
5	22	井深　恵太	イブカ　ケイタ	3	健康科	日本文理
6	35	髙橋　尚汰	タカハシ　ショウタ	3	健康科	十日町
7	39	宮崎　俊輔	ミヤザキ　シュンスケ	3	健康科	日本文理
8	17	小池　胡太朗	コイケ　コタロウ	2	健康科	開志学園
9	24	杉山　斡希	スギヤマ　ハルキ	2	健康科	新津
10	48	杣木　健人	ソマキ　ケント	2	看護	日本文理
11	15	谷　恭輔	タニ　キョウスケ	2	リハビリテーション	館林
12	18	星　航太	ホシ　コウタ	2	リハビリテーション	東北学院
13	37	近藤　颯太郎	コンドウ　ソウタロウ	2	健康科	東京学館新潟
14	21	鈴木　梢真	スズキ　ショウマ	2	健康科	秋田西
15	55	橋本　貫児	ハシモト　カンジ	2	健康科	新潟商業
16	2	渡辺　真生	ワタナベ　マサキ	2	リハビリテーション	十日町
17	52	亀山　貴裕	カメヤマ　タカヒロ	2	リハビリテーション	富山第一
18	8	関　将大	セキ　ショウタ	2	健康科	長岡大手
19	42	皆川　実樹	ミナガワ　ミズキ	2	リハビリテーション	五泉
20	7	山田　優光	ヤマダ　マサミツ	2	健康科	十日町
21	49	安部　祐希	アベ　ヨシキ	1	医療技術	寒河江
22	51	柳瀬　悠河	ヤナセ　ユウガ	1	診療放射線	長岡向陵
23	89	都丸　翔汰	トマル　ショウタ	1	健康科	中野西
24	56	秋本　大耀	アキモト　タイヨウ	1	医療技術	金足農業
25	66	北村　心結	キタムラ　シンユウ	1	医療技術	新発田
26	53	小宮山　大智	コミヤマ　タイチ	1	医療技術	十日町
27	25	齋藤　湧大	サイトウ　ユウダイ	1	医療技術	上田西
28	1	杉本　遥	スギモト　ヨウ	1	医療技術	日本大学山形
29	13	松永　佑隼	マツナガ　ユウト	1	健康科	中越
30	11	菊池　駿太	キクチ　シュンタ	1	医療技術	米沢東
31	27	美野　倖恵	ミノ　コウエ	1	リハビリテーション	村上
32	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	但野　絢乃	タダノ　アヤノ	1	医療技術	原町
33	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	戸谷　愛奈	トヤ　アイナ	1	看護	佐久長聖
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4 戦	3 勝	1 敗	分

○	不戦勝	−		対	新潟大学歯学部		対
●	1	− 6		対	新潟大学		対
○	5	− 3		対	新潟国際情報大学		対
○	16	− 4		対	新潟大学		対
		−		対			対
		−		対			対
		−		対			対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	44	五十嵐 竜	9	1	0	3.00
2	25	齊藤 湧大	8	1	0	5.63
3	24	杉山 斡希	5	0	1	3.60
4	18	星 航太	2	0	0	4.50
5	12	平野 感太	1	0	0	0.00

試合数	打率	本塁打
3	0.252	2
犠打	盗塁	失策
4	5	2
防御率	奪三振	盗塁阻止率
4.33	26	−

連盟からのコメント

初めに、今大会開催にあたりご尽力いただきました関係者各位に厚く御礼申し上げます。秋季リーグ戦では苦戦を強いられながらも勝ち上がってきました。今季のチームは投手陣を武器としています。速球派から技巧派、変則派までバリエーション豊かな投手陣が揃っており、それぞれの持ち味を生かしながら戦ってきました。全国大会でも自慢の投手陣を中心に粘り強く戦い、優勝を目指して頑張って欲しいと思います。

新潟地区大学軟式野球連盟　委員長　髙橋尚汰

チームからのコメント

初めに、今大会開催にあたりご尽力いただきました関係者各位に厚く御礼申し上げます。今季のチームの強みは、投手からリズムを作り、守備から攻撃へと流れをつなげることです。投手陣を中心に粘り強く守り、チーム全員で作った流れを得点につなげていきます。全国大会でも自慢の投手陣から試合を作り、一戦必勝で優勝目指して戦います。

新潟医療福祉大学 主将 堀田翔己

公立諏訪東京理科大学

長野県茅野市豊平5000－1

長野県大学軟式野球連盟
3年ぶり　2回目

部長	内海　重宜	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	川山　慶大	カワヤマ　ヨシヒロ	3	工	韮崎
2	17	長縄　裕貴	ナガナワ　ユウキ	4	工	長良
3	18	渡邊　皓太	ワタナベ　コウタ	4	工	福島成蹊
4	55	山形　勝博	ヤマガタ　マサヒロ	3	工	清真学園
5	21	川村　駿介	カワムラ　シュンスケ	3	工	東郷
6	19	武士　海人	タケシ　カイト	3	工	長野工業
7	11	有野　友哉	アリノ　トモヤ	2	工	巨摩
8	24	石田　拓也	イシダ　タクヤ	2	工	諏訪二葉
9	14	岩川　岳斗	イワカワ　ガクト	2	工	屋久島
10	2	上田　泰久	ウエダ　タク	2	工	北杜
11	6	渡邊　碧斗	ワタナベ　アオト	2	工	柏中央
12	20	小笠原　春貴	オガサワラ　ハルキ	2	工	宇都宮南
13	9	髙木　耀太	タカキ　アキト	2	工	近畿大学付属福岡
14	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	石樽　文	イシグレ　アヤ	2	工	岐山
15	3	髙桑　怜也	タカクワ　レイヤ	1	工	上田千曲
16	77	大塚　敬太	オオツカ　ケイタ	1	工	長良
17	51	小久保　和希	コクボ　カズキ	1	工	市立太田
18	23	佐久間　正翔	サクマ　ショウト	1	工	旭野
19	33	田井　智也	タイ　トモヤ	1	工	小坂井
20	41	深澤　真豊	フカサワ　マナト	1	工	巨摩
21	22	川森　丈瑠	カワモリ　タケル	1	工	川越
22	8	白倉　良紀	シラクラ　ヨシキ	1	工	北杜
23	16	中口　大輝	ナカグチ　ダイキ	1	工	津西
24	7	三浦　逞巨	ミウラ　タクミ	1	工	吉田
25	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	冨田　彩巴	トミダ　アヤハ	1	工	豊丘
26	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	藤下　裕香	フジシタ　ユウカ	1	工	袋井
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

6 戦	5 勝	1 敗	分

○	11	－	1	対	信州大学松本		対
○	8	－	0	対	信州大学長野		対
○	5	－	3	対	長野保険医療大学		対
●	5	－	6	対	松本大学		対
○	8	－	3	対	信州大学長野		対
○	2	－	0	対	松本大学		対
		－		対			対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	10	川山　慶大	21⅓	3	0	0.43
2	11	有野　友哉	12⅔	2	0	0.71
3	17	長縄　祐貴	5⅓	0	0	5.06
4	18	渡邊　皓太	5⅔	0	1	10.80
5	23	佐久間　正翔	2⅔	0	0	9.00

試合数	打率	本塁打
6	0.216	0
犠打	盗塁	失策
1	24	14
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.54	44	0.00

連盟からのコメント

はじめに本大会開催にあたり、ご尽力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。
本大会の長野県代表校である公立諏訪東京理科大学は豊富な投手陣を軸に安定した守備を魅せるチームです。打撃でも様々なタイプの打者が揃っています。
ひとつでも多く勝利ができることを応援しております。

長野県大学軟式野球連盟　委員長
小林 咲太朗

チームからのコメント

はじめに本大会の開催にあたり、多大なるご尽力ならびに温かいご支援を賜りました皆様に、厚く御礼申し上げます。
私たち公立諏訪東京理科大学は、豊富な投手陣を軸に守備からチームの流れを作り、上位打線から下位打線のどこからでも、点を取ることができることが特徴のチームです。また、声かけやチーム内の連携も魅力的なチームです。
全国大会では、目の前の一戦に集中し、勝ち進んでいきます。

公立諏訪東京理科大学
軟式野球部　主将　川山 慶大

富山大学

富山県富山市五福3190

北陸地区大学軟式野球連盟
6年ぶり　4回目

部長	髙﨑　一朗	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	森下　睦大	モリシタ　ムツヒロ	2	経済	高岡第一
2	51	北森　琥大郎	キタモリ　コタロウ	2	経済	富山南
3	99	鹿田　健太	シカダ　ケンタ	2	工	長野工業
4	25	高木　真之介	タカギ　シンノスケ	2	経済	新湊
5	27	石井　大登	イシイ　ダイト	2	工	岐阜北
6	63	加藤　塔哉	カトウ　トウヤ	2	経済	大門
7	23	松岡　敦也	マツオカ　アツヤ	2	経済	金沢桜丘
8	7	室屋　佑樹	ムロヤ　ユウキ	2	理	金沢桜丘
9	3	吉田　圭伸	ヨシタ　ケイシン	2	経済	小松商業
10	16	桜野　凱生	サクラノ　カイセイ	2	経済	高岡商業
11	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	佐野　冬奈	サノ　フユナ	2	人文	福岡
12	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	盤若　心春	ハンニャ　コハル	2	人文	高岡
13	11	佐野　涼平	サノ　リョウヘイ	1	理	岐阜北
14	46	寺田　友	テラダ　トモ	1	人文	八日市
15	55	井上　晃輔	イノウエ　コウスケ	1	工	岐阜北
16	2	大西　駿哉	オオニシ　シュンヤ	1	工	長良
17	21	松浦　航大	マツウラ　コウタ	1	経済	金沢桜丘
18	18	南塚　陽喜	ミナミヅカ　ハルキ	1	経済	高岡南
19	31	泉　康太	イズミ　コウタ	1	工	新湊
20	9	黒畑　直季	クロハタ　ナオキ	1	教育	富山南
21	39	下田　湧介	シモダ　ユウスケ	1	経済	加納
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4 戦	4 勝	敗	分

○	17	－	6	対	富山県立大学		
○	不戦勝	－	不戦敗	対	金沢学院大学		
○	不戦勝	－	不戦敗	対	石川県立大学		
○	7	－	0	対	福井工業		
		－		対			
		－		対			
		－		対			

	－		対
	－		対
	－		対
	－		対
	－		対
	－		対
	－		対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	10	森下 睦大	5	1	0	0.00
2	99	鹿田 健太	4	1	0	2.25
3	25	高木 真之介	3	0	0	0.00
4	27	石井 大登	2	0	0	13.50
5						

試合数	打率	本塁打
2	0.290	4
犠打	盗塁	失策
0	10	3
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.57	16	1.000

連盟からのコメント

富山大学は、長打力を武器とした攻撃力が大きな強みであり、一気に得点を重ねることのできる打線が魅力であります。また、投手陣にはタイプの異なる投手が揃っており、相手打線に的を絞らせない投球ができる点も強みになっています。攻守両面で持ち味を発揮し、全国の舞台でも富山大学らしい力強い野球を見せてくれることを期待しています。

北陸地区大学軟式野球連盟　委員長　左近 悠翔

チームからのコメント

今大会の富山大学は、応援と感謝をテーマとしています。全国大会出場を目標に地区大会を戦い抜き、勝利を重ね、目標を達成できたことを率直に嬉しく思います。さらに全国大会で勝利を収めることを新たな目標に掲げ、全員野球の精神で戦いたいです。

主将　森下 睦大

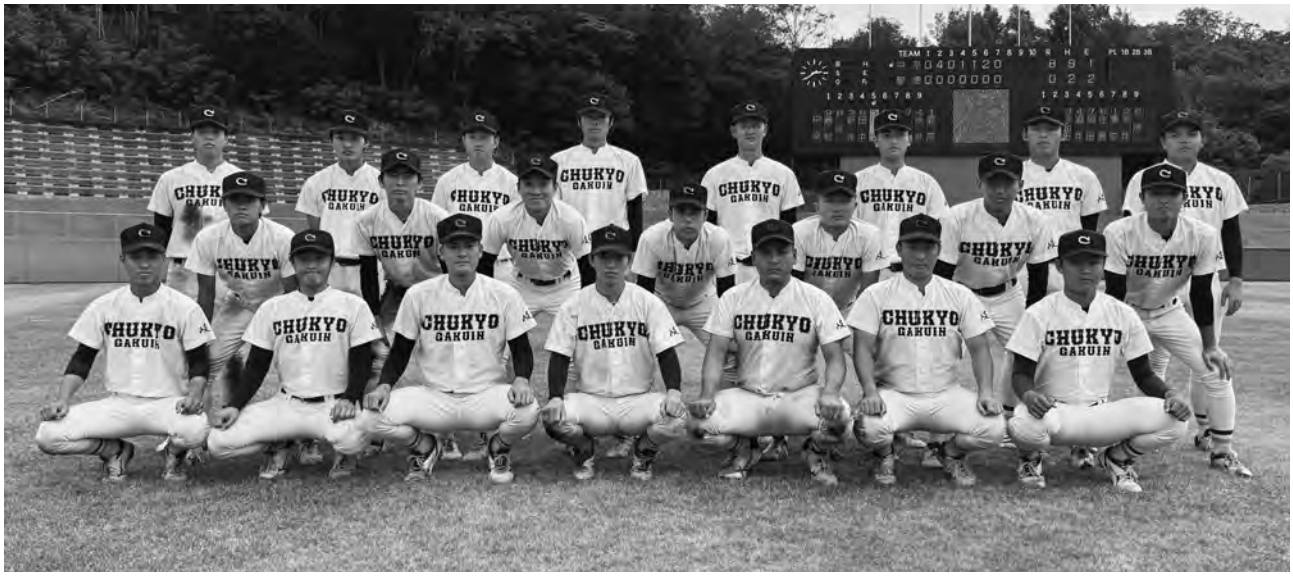
中京学院大学

岐阜県中津川市千旦林1－104

東海学生軟式野球連盟
8年連続　19回目

部長	須栗　大	監督	太居　建人	コーチ	髙栁　昌弘	コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	新井　大翔	アライ　タイト	3	経営	西武台
2	61	菅原　壮太	スガワラ　ソウタ	4	経営	佐用
3	22	寺前　雅翔	テラマエ　マサト	4	経営	あべの翔学
4	70	丸山　佳祐	マルヤマ　ケイスケ	4	経営	長野俊英
5	20	井熊　拓成	イクマ　タクナリ	3	経営	開志学園
6	34	谷　真ノ輔	タニ　シンノスケ	3	経営	鶴岡東
7	35	福盛　晃誠	フクモリ　コウセイ	3	経営	鹿児島実業
8	2	松浦　嶺	マツウラ　リョウ	3	経営	松本国際
9	18	松田　夢羽	マツダ　トワ	3	経営	松本国際
10	7	宮田　蒼羅	ミヤタ　ソラ	3	経営	鶴岡東
11	15	大薮　紘道	オオヤブ　ヒロミチ	2	経営	あべの翔学
12	11	中野　千弥	ナカノ　ユキヤ	2	経営	鹿児島実業
13	4	藤村　愁斗	フジムラ　シュウト	2	経営	京都翔英
14	57	渡邊　航汰	ワタナベ　コウタ	2	経営	鶴岡東
15	21	會田　大嘉	アイタ　タイガ	1	経営	羽黒
16	13	川畑　巧希	カワバタ　コウキ	1	経営	鹿児島実業
17	31	川辺　大智	カワベ　ダイチ	1	経営	鶴岡東
18	5	後藤　大輝	ゴトウ　ダイキ	1	経営	東北
19	47	志村　駿	シムラ　シュン	1	経営	鶴岡東
20	19	平　悠永	タイラ　ユウエイ	1	経営	専大北上
21	51	田中　勇飛	タナカ　ユウヒ	1	経営	鶴岡東
22	32	永井　功誠	ナガイ　コウセイ	1	経営	開志学園
23	3	長尾　青空	ナガオ　ソラ	1	経営	鶴岡東
24	1	藤井　悠一郎	フジイ　ユウイチロウ	1	経営	鶴岡東
25	23	藤村　宇多	フジムラ　ウタ	1	経営	花巻東
26	33	森岡　和獅	モリオカ　カズシ	1	経営	あべの翔学
27	17	山田　琉生	ヤマダ　リュウセイ	1	経営	文徳
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5 戦	5 勝	敗	分

15	−	0	対	名古屋学院大学		
10	−	0	対	東海学園大学		
10	−	0	対	名古屋大学		
10	−	0	対	名城大学		
8	−	0	対	岐阜聖徳学園大学		
	−		対			
	−		対			

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	1	菅原 壮太	8	1	0	0.00
2	18	井熊 拓成	15	4	0	0.00
3	21	會田 大嘉	3⅔	0	0	0.00
4	23	大藪 紘道	1	0	0	0.00
5	26	森岡 和獅	0⅓	0	0	0.00

試合数	打率	本塁打
5	0.316	1
犠打	盗塁	失策
3	22	4
防御率	奪三振	盗塁阻止率
0.00	23	5.00

連盟からのコメント

本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。
東海学生軟式野球連盟の代表として、夏の選抜大会に続き、中京学院大学を送り出すこととなりました。夏の選抜大会では悔しい結果に終わりましたが、選手権ではその悔しさを胸に、優勝を成し遂げてくれることを願っております。夏の大会での経験を活かし、さらに成長した姿を見せてくれることを期待するとともに、東海地区の代表としての自覚と誇りを持ち、最後まで全力でプレーしてくれることを願っております。

東海学生軟式野球連盟　委員長　井熊 拓成

チームからのコメント

本大会の運営に携わってくださった関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。
夏の選抜大会では初戦敗退と悔しい結果に終わりました。今大会では、3年ぶりの優勝をすべく、日頃より軟式野球部を支えてくださる皆さま、応援してくださる方々への感謝の気持ちを胸に、一戦必勝で戦い抜きます。

中京学院大学　主将　新井 大翔

京都産業大学

京都府京都市北区上賀茂本山

近畿学生軟式野球連盟
19年ぶり　15回目

部長	福井　唯嗣	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	坂部　斗夢	サカベ　トム	3	経済	津山商業
2	51	小原　和馬	オハラ　カズマ	3	外国語	藤蔭
3	18	甲斐　智也	カイ　トモヤ	3	経営	大津商業
4	25	風井　柊生	カザイ　シュウ	3	国際関係	箕面自由学園
5	24	中川　翔登	ナカガワ　ショウト	3	法	京都先端科学大学附属
6	7	中村　啓人	ナカムラ　ケイト	3	経営	洛北
7	6	根塚　篤	ネヅカ　アツシ	3	経営	千里青雲
8	13	野村　征椰	ノムラ　モトヤ	3	経営	東稜
9	33	平松　耀大	ヒラマツ　アキヒロ	3	現代社会	京都先端科学大学附属
10	42	木村　祐慎	キムラ　ユウマ	3	国際関係	滋賀短期大学附属
11	44	小池　歩夢	コイケ　アユム	3	経済	倉敷商業
12	9	近藤　汰星	コンドウ　タイセイ	3	現代社会	青翔
13	59	藤原　竜也	フジワラ　タツヤ	3	法	盈進
14	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	大石　沙弥	オオイシ　サヤ	3	現代社会	堀川
15	4	沢田　奨真	サワダ　ショウマ	2	現代社会	社
16	21	伊藤　翔渉	イトウ　トア	2	法	大府
17	56	妻鹿　颯太	メガ　ソウタ	2	情報理工	高松北
18	54	山下　凌平	ヤマシタ　リョウヘイ	2	法	乙訓
19	11	氏原　奏達	ウジハラ　ソウタツ	1	現代社会	東邦
20	94	栗林　涼太	クリバヤシ　リョウタ	1	現代社会	交野
21	12	清水　隆輔	シミズ　リュウスケ	1	法	京都両洋
22	19	鈴木　惺海	スズキ　セナ	1	法	近江兄弟社
23	41	中河原　葉琉	ナカガワラ　ハル	1	経営	育英
24	29	大塚　徠生	オオツカ　ライ	1	法	富山国際大学付属
25	55	菊池　晴輝	キクチ　ハルキ	1	法	日吉ヶ丘
26	66	北村　光平	キタムラ　コウヘイ	1	外国語	近江兄弟社
27	5	西岡　諒	ニシオカ　リョウ	1	法	光泉カトリック
28	63	笹井　大馳	ササイ　ダイチ	1	経営	浜田商業
29	52	高尾　輝	タカオ　テル	1	文化	山城
30	47	溝口　竣斗	ミゾグチ　シュント	1	法	東稜
31	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	松本　千佳	マツモト　チカ	1	法	高松西
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

10 戦	8 勝	2 敗	分

○	3	1	対	京都大学
○	5	3	対	神戸大学
○	7	0	対	大阪大学
○	8	5	対	佛教大学
●	5	6	対	京都大学
○	9	8	対	大阪大学
○	6	3	対	神戸大学

○	9	0	対	大阪学院大学
○	不戦勝	不戦敗	対	大阪学院大学
●	5	9	対	佛教大学
			対	
			対	
			対	
			対	

投手成績

	背番号	氏　名	回　数	勝	敗	防御率
1	11	氏原　奏達	25⅔	3	0	0.35
2	66	北村　光平	4⅔	0	1	5.00
3	18	甲斐　智也	11	1	0	1.64
4	41	中河原　葉琉	9⅓	0	0	3.86
5	12	清水　隆輔	10⅔	1	0	5.91
6	4	西岡　諒	8	1	1	5.63
7	10	坂部　斗夢	⅔	0	0	13.50

試合数	打率	本塁打
9	0.225	3
犠打	盗塁	失策
2	7	11
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.84	34	0.06

連盟からのコメント

まずは本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げます。
京都産業大学は昨年秋に1部に昇格し、２季目にして全国大会出場を果たしました。その特徴はリーグ戦で５人が先発した層の厚い投手陣と、１イニングに複数得点を挙げる集中力の高い打線です。粒ぞろいな選手層で、劣勢からも逆転し安定して勝利を挙げる、そんな泰然自若な野球を全国大会でも発揮してもらいたいと思います。近畿学生代表として、心から京都産業大学の躍進を祈っています。

近畿学生軟式野球連盟委員長　森 洋介

チームからのコメント

4年ぶりの出場となりますが、まずは1勝と言わず、全勝を目指して全員で一丸となって頑張りたいです。
攻撃の面では、1番から9番まで切れ目のない打線で繋ぐ野球をしてきたので、やってきたことをそのままぶつけたいと思っています。
守備では豊富な投手陣で的を絞らせない投球や、積極的なプレーで序盤から流れを引き寄せたいと思います。
緊張感のなさはどこにも負けるつもりがないので、リラックスして気負わずにいつも通り戦います。

主将　坂部 斗夢

同志社大学

京都市上京区今出川通烏丸東入

関西六大学軟式野球連盟
2年連続　17回目

部長	笠井　高人	監督		コーチ	川島　尚士	コーチ	井上　敦貴	ﾄﾚｰﾅｰ	山田　帆夏	ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	田中　斯遠	タナカ　シオン	3	商	東明館
2	8	村中　雄輝	ムラナカ　ユウキ	3	商	星稜
3	13	朴　準爽	パク　ジュンサン	3	経済	檀國大学附属
4	19	廣田　快斗	ヒロタ　カイト	3	法	岩手
5	41	西村　直哉	ニシムラ　ナオヤ	3	文	栄徳
6	2	久米　諄	クメ　シュン	3	文	彦根東
7	4	藤本　蘭士郎	フジモト　ランシロウ	3	経済	花咲徳栄
8	1	鳥山　真生	トリヤマ　シンセイ	3	商	浪速
9	7	山本　一颯	ヤマモト　イッサ	3	文化情報	橿原
10	25	塩見　成一朗	シオミ　セイイチロウ	3	政策	同志社
11	62	住本　修都	スミモト　ナオト	3	理工	牧野
12	42	山名　亨騎	ヤマナ　コウキ	3	経済	高田
13	44	栗原　暖二	クリハラ　ダンジ	3	商	同志社
14	56	稲本　優志	イナモト　ユウジ	3	理工	東大津
15	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	道廣　瞳依	ミチヒロ　メイ	3	経済	同志社
16	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	深田　菜月	フカダ　ナツキ	3	経済	同志社女子
17	11	森本　悠暉	モリモト　ユウキ	2	商	智辯学園
18	27	前田　悠晴	マエダ　ユウセイ	2	経済	西春
19	55	西尾　耀道	ニシオ　ヨウドウ	2	商	同志社
20	3	塩川　翼	シオカワ　ツバサ	2	商	東明館
21	5	田口　遼馬	タグチ　リョウマ	2	法	東筑
22	6	河井　大悟	カワイ　ダイゴ	2	商	川越東
23	14	畠　颯馬	ハタ　ソウマ	2	文化情報	尾道北
24	31	近藤　哲世	コンドウ　テッセイ	2	法	膳所
25	50	小原　光晟	コハラ　コウセイ	2	商	掛川西
26	9	吉田　大樹	ヨシダ　ヒロキ	2	経済	須磨翔風
27	26	吉岡　周吾	ヨシオカ　シュウゴ	2	商	金沢桜丘
28	37	松谷　賢志朗	マツヤ　ケンシロウ	2	文化情報	北陸学院
29	66	河村　健吾	コウムラ　ケンゴ	2	文化情報	中京大学附属中京
30	12	吉成　勇人	ヨシナリ　ハヤト	1	理工	同志社香里
31	18	中村　咲太	ナカムラ　ショウタ	1	経済	同志社香里
32	64	石井　悠紀	イシイ　ユウキ	1	スポーツ健康科学	広島井口
33	22	中山　福太郎	ナカヤマ　フクタロウ	1	理工	広島中等教育学校
34	23	酒井　蒼空	サカイ　ソラ	1	文化情報	東明館
35	94	阪下　颯那	サカシタ　セナ	1	理工	市立西宮
36	16	川口　大輔	カワグチ　ダイスケ	1	文化情報	同志社国際
37	21	秋庭　都亜	アキバ　トア	1	文化情報	新潟明訓
38	24	田中　翔也	タナカ　トウナ	1	法	西城陽
39	32	荒木　大祐	アラキ　ダイスケ	1	法	東大津
40	33	山本　凌輔	ヤマモト　リョウスケ	1	文	星陵
41	35	上利　直輝	アガリ　ナオキ	1	文化情報	広島
42	53	三島　和也	ミシマ　カズヤ	1	商	川越東
43	54	福田　琉太	フクダ　リュウタ	1	政策	清教学園
44	63	長岡　優介	ナガオカ　ユウスケ	1	経済	川越東
45	67	落合　優羽	オチアイ　ユウワ	1	政策	星稜
46	78	松井　慎之介	マツイ　シンノスケ	1	社会	加古川西
47	99	公文代　拓人	クモンダイ　タクト	1	社会	同志社国際
48	17	水野　有世	ミズノ　ユウセイ	1	経済	同志社
49	20	山崎　颯人	ヤマサキ　ハヤト	1	経済	伊丹北
50	34	矢野　圭悟	ヤノ　ケイゴ	1	法	新田青雲中等教育学校

	背番号	氏　　名	氏名フリガナ	学年	学　　部	出　身　校
51	36	柴田　奏	シバタ　ソウ	1	心理	名古屋
52	39	杉本　侑太郎	スギモト　ユウタロウ	1	経済	同志社香里
53	40	北野　佑樹	キタノ　ユウキ	1	政策	北須磨
54	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	辻　泰晟	ツジ　タイセイ	1	社会	社会
55	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	伊藤　佑真	イトウ　ユウマ	1	文化情報	同志社
56	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	西森　葉	ニシモリ　ヨウ	1	文	西春
57	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	雙木　あかり	ナミキ　アカリ	1	政策	東海大菅生
58	90	大和　剛侑	ヤマト　ゴウ	4	経済	修猷館
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

10 戦 7 勝 2 敗 1 分

○	3	− 1	対	甲南大学
○	6	− 1	対	立命館大学
○	3	− 1	対	関西大学
○	8	− 3	対	関西大学
●	0	− 1×	対	大阪公立大学
○	4	− 1	対	関西学院大学
●	7	− 8	対	関西学院大学

△	0	− 0	対	大阪公立大学
○	3	− 1	対	立命館大学
○	10×	− 0	対	甲南大学
		−	対	
		−	対	
		−	対	
		−	対	

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	8	村中 雄輝	41⅔	0	0	0.22
2	18	中村 咲太	12⅔	0	0	2.84
3	19	廣田 快斗	32⅔	0	0	3.03
4						
5						

試合数	打率	本塁打
10	0.234	6
犠打	盗塁	失策
16	17	16
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.66	60	0.30

連盟からのコメント

同志社大学は７勝２敗１分で、２年連続となる秋季リーグ優勝を果たした。投手陣の安定感に加え、勝負どころで得点を重ねる打線も光った。苦しい試合を乗り越えてつかんだ優勝を自信に、全国大会でのさらなる活躍に期待したい。

関西六大学軟式野球連盟　委員長　中野太陽

チームからのコメント

持ち前の守備力と投手力を武器に、チーム一丸となって粘り強く戦い、一戦必勝で勝利を積み重ねていきます。目標である全国大会2連覇に向け、再びチャレンジャーとして全力で大会に挑みます。

同志社大学　主将　田中斯遠

MEMO

流通科学大学

兵庫県神戸市西区学園西町3－1

西都大学軟式野球連盟
2年連続　9回目

部長	安田　政彦	監督	家島　大輔	コーチ	久保　祐大	コーチ	藤原　拓馬	ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	出葉　凜太郎	デハ　リンタロウ	3	経済	高松南
2	20	髙野　修平	コウノ　シュウヘイ	4	経済	徳島市立
3	8	近藤　蒼来	コンドウ　ソラ	4	人間社会	興国
4	83	有岡　侑哉	アリオカ　ユウヤ	3	人間社会	上郡
5	3	濱口　友希	ハマグチ　トモキ	3	人間社会	淡路三原
6	34	村口　滉斗	ムラグチ　ヒロト	3	人間社会	鳥取商業
7	36	中島　悠希	ナカジマ　ユウキ	2	商	神戸北
8	5	柳生　翔海	ヤギュウ　ショウマ	2	人間社会	鹿島学園
9	6	大原　飛翔	オオハラ　ツバサ	2	経済	池田
10	25	岡吉　大埜	オカヨシ　ダイヤ	2	人間社会	神戸国際大附属
11	4	清水　来翔	シミズ　ライト	2	商	あべの翔学
12	18	奥田　真太朗	オクダ　シンタロウ	1	人間社会	神港学園
13	14	大内　陽聖	オオウチ　ヨウセイ	1	人間社会	新田
14	7	寺口　芽生跳	テラグチ　メイト	1	商	八頭
15	2	仲村　日向汰	ナカムラ　ヒナタ	1	商	あべの翔学
16	46	瀬賀　成龍	セガ　セイリュウ	1	人間社会	明石商業
17	1	中居　健太	ナカイ　ケンタ	1	人間社会	あべの翔学
18	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	桒垣　志帆	クワガキ　シホ	1	商	網干
19	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	花畑　結月	ハナバタ　ユヅキ	1	人間社会	クラーク記念国際
20	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	日和　優奈	ヒヨリ　ユウナ	1	商	愛徳学園
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

10	戦	8	勝	2	敗		分

●	9	− 12	対	桃山学院大学
○	4	− 2	対	大阪国際大学
○	13	− 5	対	近畿大学農学部
○	10	− 2	対	近畿大学農学部
○	6	− 4	対	天理大学
○	10	− 0	対	帝塚山大学
○	13	− 3	対	桃山学院大学

●	3	− 4	対	天理大学
○	10	− 2	対	帝塚山大学
○	10	− 0	対	大阪国際大学
		−	対	
		−	対	
		−	対	
		−	対	

投手成績

	背番号	氏　名	回　数	勝	敗	防御率
1	18	奥田　真太朗	30⅔	3	2	2.94
2	2	仲村　日向汰	22	3		3.68
3	20	髙野　修平	17	1		1.05
4	34	村口　滉斗	4	1		4.50
5						

試合数	打率	本塁打
10	0.271	7
犠打	盗塁	失策
10	29	17
防御率	奪三振	盗塁阻止率
0.28	45	0.33

連盟からのコメント

本大会の開催におかれまして準備、運営に携わられたすべての関係者の皆様に感謝、御礼申し上げます。
秋季リーグ戦期間中は、全国的な悪天候による影響もあり、試合日程の順延が続き調整が難しいなかでの戦いとなりましたが、堅実な守りと持ち前の勝負強い打撃でチーム一丸となる戦いを展開してリーグ優勝を果たしてくれました。
全日本大学軟式野球選手権大会という最高峰の舞台で野球ができるということに感謝の気持ちを持ち、日々の練習の成果を思う存分発揮して、活躍してくれることを期待しております。

理事長　安田 政彦

チームからのコメント

まず初めに、本大会開催にご尽力いただきましたすべての関係者の皆様に感謝、御礼申し上げます。
第49回全日本大学軟式野球選手権大会に出場でき、大変嬉しく思います。
私たちは、選抜大会後からリーグ戦を通して、チーム力・個々のできることに磨きをかけ成長を感じています。一戦必勝で戦い抜き選手権大会の舞台へ戻ってこれました。積み重ねたものを今大会で発揮できるよう戦ってまいります。
応援の程よろしくお願いいたします。

主将　出葉 凜太郎

京都文教大学

京都府宇治市槇島町千足80

京滋大学軟式野球連盟
4年ぶり　22回目

部長	名塩　匡	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	松田　和樹	マツダ　カズキ	2	総合社会	延暦寺学園比叡山
2	1	佐原　みな実	サハラ　ミナミ	4	臨床心理	西城陽
3	22	東原　寛佳	ヒガシハラ　ヒロヨシ	4	総合社会	西乙訓
4	23	松田　拓斗	マツダ　タクト	4	総合社会	京都すばる
5	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	山田　沙和	ヤマダ　サワ	4	子ども教育	日吉ヶ丘
6	11	大月　颯人	オオツキ　ハヤト	3	総合社会	久御山
7	55	奥田　蒼央	オクダ　アオ	3	総合社会	田辺
8	2	北村　洸	キタムラ　コウキ	3	総合社会	堅田
9	51	西出　敦哉	ニシデ　アツヤ	3	総合社会	京都文教
10	6	西出　成那	ニシデ　セイナ	3	総合社会	京都廣学館
11	7	音羽　悠斗	オトワ　ユウト	3	総合社会	田辺
12	56	久保　裕翔	クボ　ユイト	3	総合社会	京都翔英
13	8	西田　太陽	ニシダ　タイヨウ	3	総合社会	田辺
14	31	村田　真一	ムラタ　シンイチ	2	総合社会	延暦寺学園比叡山
15	21	西岡　大輝	ニシオカ　ハルキ	1	総合社会	城陽
16	62	水垣　皓太	ミズガキ　コウタ	1	総合社会	京都文教
17	24	柳田　政温	ヤナギタ　マサハル	1	総合社会	久御山
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5	戦	5	勝		敗		分

○	5	−	2	対	龍谷大学		−	対
○	7	−	3	対	びわこ成蹊スポーツ大学		−	対
○	12	−	5	対	滋賀県立大学		−	対
○	12	−	3	対	びわこ学院大学		−	対
○	16	−	2	対	びわこ成蹊スポーツ大学		−	対
		−		対			−	対
		−		対			−	対

投手成績

	背番号	氏　名	回　数	勝	敗	防御率
1	1	佐原　みな実	19	2		1.42
2	6	西出　成那	0⅓			0.00
3	11	大月　颯人	6	1		4.50
4	21	西岡　大輝	6	1		4.50
5	55	奥田　蒼央	9	1		2.00

試合数	打率	本塁打
5	0.345	2
犠打	盗塁	失策
2	6	3
防御率	奪三振	盗塁阻止率
3.07	23	0.67

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。
京都文教大学は夏の選抜大会に続き二季連続の全国大会出場を決めました。
リーグ戦ではピッチャーを中心に守り勝つ野球で勝ち抜きました。
今大会も混戦が予想されますが、選抜大会の悔しさを糧にリーグ戦同様一戦必勝で夏のリベンジを果たしてもらいたいと思います。

京滋大学軟式野球連盟委員長　久保 裕翔

チームからのコメント

初めに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。
今季は夏の選抜大会の悔しさを糧にチーム一丸となって練習に励んできました。全国大会では京都文教らしく、勝負を楽しみ夏の選抜大会で果たせなかった一勝を掴み取ります！応援のほどよろしくお願いします！

京都文教大学　主将　松田 和樹

福山平成大学

広島県福山市御幸町上岩成正戸117－1

中国地区大学軟式野球連盟
4年連続　15回目

部長	高本　健彦	監督	高本　健彦	コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	坂本　太希	サカモト　ダイキ	3	福祉健康	興譲館
2	1	成清　拓夢	ナリキヨ　タクム	4	福祉健康	創志学園
3	3	前畑　俊介	マエハタ　シュンスケ	4	福祉健康	岡山南
4	9	江原　功晟	エバラ　コウセイ	4	福祉健康	米子北
5	7	横原　寛大	ヨコハラ　ヒロト	4	福祉健康	福山葦陽
6	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	今村　華音	イマムラ　カノン	4	福祉健康	国分
7	19	黒木　慎人	クロギ　マコト	3	福祉健康	福山葦陽
8	6	社　忠彦	ヤシロ　タダヒコ	3	福祉健康	広島広陵
9	34	大土井　海翔	オオドイ　カイト	3	福祉健康	神辺
10	15	門田　悠聖	モンデン　ユウト	2	福祉健康	福山葦陽
11	31	大田　智治	オオタ　トモハル	2	福祉健康	糸満
12	2	占部　海翔	ウラベ　カイト	2	福祉健康	松永
13	23	村上　琉偉	ムラカミ　ルイ	2	福祉健康	近畿大学附属福山
14	4	川角　駿介	カワスミ　シュンスケ	2	福祉健康	おかやま山陽
15	8	早川　諒	ハヤカワ　リョウ	2	福祉健康	下関国際
16	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	岡﨑　陽菜	オカザキ　ヒナ	2	看護	近畿大学附属福山
17	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	道原　彩加	ミチハラ　アヤカ	2	福祉健康	大門
18	11	園尾　泰世	ソノオ　タイセイ	1	福祉健康	福山葦陽
19	48	新谷　厚支	ニイヤ　アツシ	1	福祉健康	矢掛
20	13	松下　尚生	マツシタ　ナオ	1	福祉健康	神辺旭
21	5	高橋　巧	タカハシ　タクミ	1	福祉健康	福山葦陽
22	44	丸西　大空	マルニシ　タク	1	福祉健康	境港総合技術
23	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	佐藤　柚乙妃	サトウ　ユズヒ	1	福祉健康	広島広陵
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

6 戦	5 勝	1 敗	分

●	0	−	1	対	広島市立大学		対
○	5	−	0	対	福山大学		対
○	12×	−	5	対	近畿大学工学部		対
○	7	−	1	対	広島市立大学		対
○	4	−	3	対	近畿大学工学部		対
○	8	−	0	対	福山大学		対
		−		対			対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	11	園尾 泰世	20	2	0	1.35
2	15	門田 悠聖	15⅔	1	0	2.30
3	19	黒木 慎人	3⅓	1	0	0.00
4	48	新谷 厚支	11	1	1	0.82
5						

試合数	打率	本塁打
6	0.263	2
犠打	盗塁	失策
8	20	5
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.44	33	0.33

連盟からのコメント

まずはじめに、今大会の運営にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。
4年連続15回目の出場おめでとうございます。
リーグ戦で発揮した福山平成大学らしい野球を存分に出せるよう優勝目指して頑張ってください。

中国地区大学軟式野球連盟　理事長　荒谷 健太郎

チームからのコメント

まずは、大会に携わっていただいた関係者方々に御礼申し上げます。感謝の気持ちを忘れず、福山平成大学らしく、最後まで諦めない粘り強いプレースタイルを貫き、多くの人に応援してもらえるよう頑張ります。守備面では、投手を中心に最小失点で守り抜き、打撃面では、つなぐ野球をしてきました。私たちのチームでは1という数字を大切にし、チーム一丸となり、目標である全国制覇を目指して一戦必勝で頑張ります。

福山平成大学　主将　坂本 太希

香川大学

香川県高松市幸町1－1

四国地区大学軟式野球連盟
9年ぶり　8回目

部長	鈴木　達也	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	井嶋　優心	イジマ　ユウシン	2	創造工	高松北
2	11	吉峰　将誠	ヨシミネ　ショウセイ	2	経済	高松桜井
3	1	岩城　祐哉	イワキ　ユウヤ	2	法	山口
4	7	平尾　慶	ヒラオ　ケイ	2	経済	宝塚北
5	99	上木　陽介	ウエキ　ヨウスケ	2	法	京都産業大学附属
6	6	藤井　康博	フジイ　ヤスヒロ	2	創造工	三木
7	33	山口　航平	ヤマグチ　コウヘイ	2	法	福山誠之館
8	63	吉田　悠陽	ヨシダ　ユウヒ	2	創造工	倉敷南
9	5	一色　泰輝	イッシキ　タイキ	2	経済	松山南
10	15	今岡　玄登	イマオカ　ハルト	2	法	出雲
11	14	坂手　大喜	サカテ　ダイキ	2	教育	坂出
12	4	原田　凌那	ハラダ　リョウナ	2	法	松山南
13	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	稲村　亜弥	イナムラ　アヤ	2	創造工	静岡東
14	77	岡田　知也	オカダ　トモヤ	1	創造工	油木
15	95	小山　悠太	コヤマ　ユウタ	1	経済	高松桜井
16	23	坂田　尚哉	サカタ　ナオヤ	1	教育	高松桜井
17	31	塩田　流祈	シオタ　ルイ	1	経済	三島
18	44	高橋　郁人	タカハシ　イクト	1	教育	高松桜井
19	61	谷田　豊拓	タニダ　トヨヒロ	1	法	広島みらい創生
20	26	原田　智徳	ハラダ　トモヒロ	1	教育	倉敷南
21	48	文野　碧	ブンノ　アオイ	1	創造工	新居浜西
22	18	山下　翔斗	ヤマシタ　ショウト	1	創造工	西宮
23	58	倉下　慶太	クラシタ　ケイタ	1	創造工	城東
24	19	滝本　麗仁	タキモト　ヨシヒト	1	経済	桑名
25	47	西原　唯信	ニシハラ　ユイシン	1	経済	太田
26	37	宮崎　優太	ミヤザキ　ユウタ	1	農学	高松商業
27	55	山部　大和	ヤマベ　ヤマト	1	経済	大分雄城台
28	22	渡邊　孝史	ワタナベ　タカフミ	1	法	総社南
29	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	木村　真子	キムラ　マコ	1	創造工	高松桜井
30	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	久保　華	クボ　ハナ	1	法	神戸
31	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	福谷　彩水	フクタニ　アヤミ	1	経済	三木
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

6	戦	6	勝		敗		分

○	15	−	3	対 高知工科大学		−		対
○	5	−	2	対 愛媛大学		−		対
○	11	−	1	対 香川大学医学部		−		対
○	7	−	4	対 高松大学		−		対
○	9	−	4	対 高知大学		−		対
○	2	−	0	対 徳島大学		−		対
		−		対		−		対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	6	藤井 康博	17⅓	2	0	2.60
2	7	平尾 慶	4⅔	1	0	2.25
3	15	今岡 玄登	1	0	0	0.00
4	11	吉峰 将誠	9	1	0	0.00
5	37	宮崎 優太	14	2	0	3.21

試合数	打率	本塁打
6	0.255	4
犠打	盗塁	失策
3	26	7
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.74	57	0.00

連盟からのコメント

まず、大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。香川大学の皆さん、選手権大会への出場おめでとうございます。リーグ戦では、投打に躍動し、優勝を掴み取った姿に深く感銘を受けました。選手権大会でも、チームの持ち味を存分に発揮し勝利を重ねられることを願っております。皆さんのご健闘を心よりお祈り申し上げます。

四国地区大学軟式野球連盟
理事長　田原 晃生
委員長　髙月 凱士

チームからのコメント

香川大学は11年ぶりの選手権大会出場となりました。
全国の舞台ではまず一勝を目標に頑張ります。

香川大学　主将　井嶋 優心

熊本県立大学

九州地区大学軟式野球連盟
4年ぶり　14回目

熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号

部長	本田　圭市郎	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	福原　夏生	フクハラ　ナツキ	2	環境共生	熊本学園大学付属
2	1	川窪　清正	カワクボ　キヨマサ	3	総合管理	必由館
3	4	坂本　勝亮	サカモト　ショウスケ	3	総合管理	熊本学園大学付属
4	7	中村　優斗	ナカムラ　ユウト	3	総合管理	熊本学園大学付属
5	6	宮田　良太郎	ミヤタ　リョウタロウ	3	総合管理	マリスト学園
6	11	井島　祐人	イジマ　ユウト	3	総合管理	八代
7	9	境　竜輝	サカイ　リュウキ	3	総合管理	八代
8	2	佐藤　貴志	サトウ　タカシ	3	総合管理	熊本北
9	14	高田　裕史	タカタ　ユウシ	3	総合管理	熊本学園大学付属
10	25	吉永　覇世	ヨシナガ　ハヤセ	3	総合管理	熊本北
11	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	池田　二葉	イケダ　フタバ	3	総合管理	大津
12	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	髙沢　葵	タカザワ　アオイ	3	総合管理	八代
13	16	上村　麟太郎	ウエムラ　リンタロウ	2	総合管理	第二
14	13	岡本　陸	オカモト　リク	2	総合管理	真和
15	21	河畑　聡	カワハタ　サトシ	2	環境共生	広島観音
16	43	竹田　瑛人	タケダ　アキト	2	総合管理	第一
17	23	菊川　恭生	キクカワ　キョウセイ	2	文	玉名
18	41	駒木根　煌士	コマキネ　コウシ	2	総合管理	玉名
19	24	北林　侑起	キタバヤシ　ユウキ	1	総合管理	熊本北
20	26	木村　莉久	キムラ　リク	1	総合管理	熊本北
21	3	村上　壱心	ムラカミ　イッシン	1	総合管理	熊本学園大学付属
22	77	高田　悠生	タカタ　ユウセイ	1	総合管理	熊本学園大学付属
23	5	津田　直輝	ツダ　ナオキ	1	総合管理	熊本学園大学付属
24	8	那須　蒼汰	ナス　ソウタ	1	総合管理	熊本北
25	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	稲葉　満帆	イナバ　マホ	1	文	熊本北
26	ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	濱田　優衣	ハマダ　ユイ	1	環境共生	国分
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5 戦	5 勝	敗	分

○	19	－	8	対	宮崎産業経営大学		対
○	不戦勝	－	不戦敗	対	鹿児島国際大学	－	対
○	不戦勝	－	不戦敗	対	九州看護福祉大学	－	対
○	7	－	5	対	崇城大学	－	対
○	5×	－	4	対	鹿児島大学	－	対
		－		対		－	対
		－		対		－	対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	3	村上 壱心	6⅓	1	0	0.00
2	20	宇都宮 巧	16⅔	2	0	3.24
3						
4						
5						

試合数	打率	本塁打
3	0.248	2
犠打	盗塁	失策
0	19	13
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.67	20	－

連盟からのコメント

熊本県立大学の皆さん、全国大会出場おめでとうございます！夏の選抜大会に続き今年２度目の全国の舞台となりますが、九州地区を勝ち抜いた力を思う存分発揮して頂きますよう心から願っております。同時に夏に達成できなかった全国大会での1勝も期待しております。最後になりますが野球ができることに感謝の気持ちを忘れずに最後まで楽しんでプレーしてきてください。皆さんの健闘をお祈り致します。

理事長　上木 卓

チームからのコメント

私たちは夏の選抜大会の初戦でサヨナラ負けを喫し、全員が悔しい思いを経験しました。その悔しさを糧に、どんな場面でも粘り強く戦えるチームを目指して練習に取り組んできました。精神面・技術面ともにまだまだ未完成であり、部員も決して多くありませんが、練習や試合を重ねる中で培ってきた団結力を武器に、チーム一丸となって最後の1プレーまで諦めずに全力で戦い、私たちの悲願である全国大会での勝利を掴み取ります。

熊本県立大学　主将　福原 夏生

沖縄国際大学

沖縄県宜野湾市宜野湾2丁目6番1号

沖縄県大学軟式野球連盟
5年ぶり　10回目

部長	山川　満夫	監督		コーチ		コーチ		ﾄﾚｰﾅｰ		ﾄﾚｰﾅｰ	

	背番号	氏　名	氏名フリガナ	学年	学　部	出　身　校
1	10	仲宗根　克	ナカソネ　スグル	3	総合文化	コザ
2	5	東江　琉愛	アガリエ　ルア	3	総合文化	小禄
3	33	安里　健旦	アサト　ケンタ	3	法	小禄
4	58	岸本　胡珀	キシモト　コハク	3	総合文化	名護
5	89	金城　吏生	キンジョウ　リキ	3	法	小禄
6	18	興梠　太一	コオロギ　タイチ	3	法	小禄
7	97	平良　旺羽佑	タイラ　オウスケ	3	総合文化	宜野湾
8	24	渡久地　佑之介	トグチ　ユウノスケ	3	産業情報	名護
9	1	真鶴　燎侍	マイヅル　リョウジ	3	産業情報	北中城
10	2	宮里　泰生	ミヤザト　タイセイ	3	総合文化	宜野湾
11	21	吉川　瑛司	ヨシカワ　エイシ	3	総合文化	宜野湾
12	99	新崎　康斗	アラサキ　コウト	2	経済	名護
13	19	池宮城　悠	イケミヤギ　ユウマ	2	総合文化	名護
14	98	大城　匠	オオシロ　タクミ	2	法	名護
15	4	伊佐　侑陽	イサ　ユウヒ	1	経済	コザ
16	77	喜久本　聖輝	キクモト　イブキ	1	法	コザ
17	11	金城　幸世	キンジョウ　ユキセ	1	経済	コザ
18	39	桑江　良弥	クワエ　ヨシヤ	1	経済	コザ
19	27	玉城　遙	タマキ　ヨウ	1	法	コザ
20	23	當銘　由一朗	トウメ　ユウイチロウ	1	産業情報	コザ
21	6	仲間　暖翔	ナカマ　ハルト	1	経済	沖縄工業
22	69	仲松　功祐	ナカマツ　コウスケ	1	法	コザ
23	84	福村　恭樹	フクムラ　ヤスキ	1	経済	コザ
24	31	屋良　飛晴	ヤラ　タカセ	1	法	コザ
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4 戦	3 勝	1 敗	分

●	4	－ 3	対	沖縄大学
○	14	－ 4	対	名桜大学
○	9	－ 2	対	沖縄大学
○	7	－ 0	対	名桜大学
		－	対	
		－	対	
		－	対	

	－		対
	－		対
	－		対
	－		対
	－		対
	－		対
	－		対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	19	池宮城　悠	11	1	1	4.00
2	5	東江　琉愛	12⅔	1	0	1.46
3	18	興梠　太一	1	0	0	0.00
4	21	吉川　瑛司	1⅓	1	0	21.60
5	11	金城　幸世	1	0	0	0.00
6	97	平良　旺羽佑	1	0	0	0.00

試合数	打率	本塁打
4	0.264	0
犠打	盗塁	失策
1	7	3
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.96	23	0.00

連盟からのコメント

本大会開催にあたりご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。
チーム一丸となり一戦必勝を目指します。

チームからのコメント

沖縄国際大学軟式野球部です。一度は廃部となったものの、熱い思いから再結成し初年度での全国大会に出場することができました。我々は、学年を問わずチームワークがよく厳しい朝練も乗り越えてきました。本大会では、琉球魂をバットとボールに込めて感動を与えるプレイをします。

全日本大学軟式野球連盟　加盟大学一覧　（全22連盟）

2026年9月30日時点

加盟大学数	活動中	休部中
215	169	46

北海道地区大学軟式野球連盟（23校）

國學院大學北海道短期大学	札幌大学	札幌医科大学	札幌学院大学
札幌国際大学	公立千歳科学技術大学	東京農業大学北海道オホーツク	日本医療大学
公立はこだて未来大学	北翔大学	北星学園大学	北海学園大学
北海商科大学	北海道大学	北海道大学水産学部	北海道医療大学
北海道科学大学	北海道教育大学旭川校	北海道教育大学札幌校	北海道教育大学函館校
北海道情報大学	北海道千歳リハビリテーション大学	酪農学園大学	

奥羽地区大学軟式野球連盟（９校）

秋田大学	岩手大学	北里大学獣医学部	国際教養大学
ノースアジア大学	八戸学院大学	八戸工業大学	弘前大学
盛岡大学			

東北地区大学軟式野球連盟（12校）

石巻専修大学	尚絅学院大学	仙台大学	東北大学
東北学院大学	東北芸術工科大学	東北工業大学	東北福祉大学
日本大学工学部	東日本国際大学	宮城教育大学	山形大学

東京六大学軟式野球連盟（６校）

慶應義塾大学	東京大学	法政大学	明治大学
立教大学	早稲田大学		

首都大学軟式野球連盟（12校）

嘉悦大学	淑徳大学	創価大学	大東文化大学
高千穂大学	東京学芸大学	東京電機大学理工学部	東京理科大学
獨協大学	日本医療科学大学	武蔵大学	明星大学

東都大学軟式野球連盟（７校）

青山学院大学	国士舘大学	東京経済大学	二松学舎大学
日本大学商学部	日本体育大学	和光大学	

北関東大学軟式野球連盟（12校）

茨城大学	茨城キリスト教大学	宇都宮大学	国際医療福祉大学
作新学院大学	上武大学	聖学院大学	筑波大学
帝京大学宇都宮	東京福祉大学	常磐大学	白鷗大学

東関東大学軟式野球連盟（18校）

ＳＢＣ東京医療大学	江戸川大学	神田外語大学	杏林大学
国際武道大学	城西国際大学	上智大学	千葉商科大学
中央学院大学	朝鮮大学校	つくば国際大学	帝京大学
帝京科学大学	東京理科大学理工学部	日本大学経済学部	日本大学生産工学部
日本大学理工学部	流通経済大学		

南関東大学軟式野球連盟（11校）

健康科学大学	産業能率大学	湘南工科大学	鶴見大学
田園調布学園大学	桐蔭横浜大学	東海大学	文教大学湘南校舎
明治大学生田校舎	横浜商科大学	横浜市立大学	

東京新大学軟式野球連盟（7校）

國學院大學二部	駒澤大学	専修大学神田キャンパス	東京都立大学
東京理科大学二部	東洋大学二部	日本大学法学部	

新潟地区大学軟式野球連盟（8校）

敬和学園大学	新潟大学	新潟大学医学部	新潟大学歯学部
新潟医療福祉大学	新潟県立大学	新潟国際情報大学	新潟薬科大学

長野県大学軟式野球連盟（5校）

信州大学長野	信州大学松本	公立諏訪東京理科大学	長野保健医療大学
松本大学			

北陸地区大学軟式野球連盟（7校）

石川県立大学	金沢学院大学	金沢星稜大学	仁愛大学
富山大学	富山県立大学	福井工業大学	

東海学生軟式野球連盟（12校）

岐阜経済大学	岐阜聖徳学園大学	星城大学	大同大学
中京大学	中京学院大学	東海学園大学	名古屋大学
名古屋学院大学（名古屋）	名古屋経済大学	日本福祉大学	名城大学

近畿学生軟式野球連盟（15校）

大阪大学	大阪大谷大学	大阪学院大学	大阪工業大学
大阪成蹊大学	大阪体育大学	大阪物療大学	京都大学
京都産業大学	神戸大学	神戸医療未来大学	神戸学院大学
奈良大学	兵庫県立大学	佛教大学	

関西六大学軟式野球連盟（6校）

大阪公立大学	関西大学	関西学院大学	甲南大学
同志社大学	立命館大学		

西都大学軟式野球連盟（12校）

大阪経済法科大学	大阪芸術大学	大阪国際大学	大阪電気通信大学
関西外国語大学	関西福祉科学大学	近畿大学農学部	相愛大学
帝塚山大学	天理大学	桃山学院大学	流通科学大学

京滋大学軟式野球連盟（7校）

京都医療科学大学	京都文教大学	滋賀大学	滋賀県立大学
びわこ学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	龍谷大学	

中国地区大学軟式野球連盟（7校）

岡山県立大学	近畿大学工学部	福山平成大学	広島市立大学
比治山大学	福山大学	美作大学	

四国地区大学軟式野球連盟（9校）

愛媛大学	香川大学	香川大学医学部	高知大学
高知工科大学	四国大学	高松大学	徳島大学
徳島文理大学			

九州地区大学軟式野球連盟（7校）

鹿児島大学	鹿児島国際大学	九州看護福祉大学	九州ルーテル学院大学
熊本県立大学	崇城大学	宮崎産業経営大学	

沖縄県大学軟式野球連盟（3校）

沖縄大学	沖縄国際大学	名桜大学	

令和８年度　全日本大学軟式野球協会　役員名簿

顧　　問	山口　宏	小山　吉男	
名誉会長	鈴木　眞雄		
会　　長	松岡　弘記		
副 会 長	友重　竜一		
理 事 長	中村　充治		
副理事長	五味　敏雄		
理　　事	児玉　正輝	皆巳　幸也	奥村　浩正　　名古屋　光彦
監　　事	三室　陽一	谷村　好洋	

令和８年度　全日本大学軟式野球連盟　役員名簿

顧　　問	長塚　将		
会　　長	友重　竜一		
副 会 長	松坂　繁治		
参　　与	福田　克俊		
理 事 長	中村　充治		
副理事長	皆巳　幸也（北陸地区）	名古屋　光彦	
理　　事	駒井　叶登（北海道地区）	小笠原　理貴（奥羽地区）	鈴木　勝博（東北地区）
	谷村　好洋（東京六）	栗田　友太郎（首都）	相場　奨太（東都）
	菊池　安武（北関東）	和田　駿（東関東）	奥野　水晶（南関東）
	金光　祐大（東京新）	八尾坂　修（新潟地区）	尾山　武史（長野県）
	加納　正雄（東海学生）	村上　俊夫（近畿学生）	足立　太一（関西六）
	安田　政彦（西都）	中村　真梨央（京滋）	荒谷　健太郎（中国地区）
	田原　晃生（四国地区）	上木　卓（九州地区）	上原　将司（沖縄県）
指名理事	蛭間　栄介　　福島　慎一	星　恭平　　津田　好成	尾村　匠
	クレイ　力　　高嶋　勇喜		
監　　事	秋定　孝史　　西牟田　晃平		
学生理事	鹿野　陽大　　刀根　征良	髙月　凱士	
委 員 長	鹿野　陽大（東京六）		
副委員長	刀根　征良（東関東）	髙月　凱士（四国地区）	
連盟委員	大崎　拓海（北海道地区）	時田　太輝（奥羽地区）	藤武　周（東北地区）
	川越　輝（首都）	鈴木　歩夢（東都）	坂田　佑介（北関東）
	松尾　俊太（南関東）	丹下　雄太（東京新）	髙橋　尚汰（新潟地区）
	小林　咲太朗（長野県）	左近　悠翔（北陸地区）	井熊　拓成（東海学生）
	森　洋介（近畿学生）	中野　太陽（関西六）	出葉　凛太郎（西都）
	久保　裕翔（京滋）	大土井　海翔（中国地区）	佐藤　貴志（九州地区）
	岸本　浩徳（沖縄県）		
指名連盟委員	戸田　幸希（東京六）	髙梨　薫（関西六）	

旅 京王観光



私たちはあらゆるスポーツを応援します
We support all the sports.
お問合せはこちらまで

京王観光株式会社　東京第1支店
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-3-10新宿御苑ビル2F
TEL：03-5312-6540　E-mail：tokyo-1@keio-kanko.co.jp

KEIO TRAVEL AGENCY
The Keio Group Company



うれしい顔も。くやしい顔も。

あなたの輝いてる姿、
そのシャッターチャンスをわたしたちはのがしません。

Sports共同 SINCE 1972



卒団パネルも
作成できます。

思い出のプレーをかたちに残してパネルに、スナップに…



全日本軟式野球連盟広報 ／ その他各種競技団体写真担当

株式会社 共同写真企画

◆ 大阪本社 ◆ 東京支店 ◆ 中部支店 ◆ 九州支店 http://www.kyodo-photo.co.jp

LINE

https://www.instagram.com/kyodophotoinc/ https://www.facebook.com/Sportskyodo/

MEMO

第49回　全日本大学軟式野球選手権大会　プログラム

発行日：2026年11月14日

発　行　　全日本大学軟式野球連盟（https://junbf.jp）
編集・制作　第49回　全日本大学軟式野球選手権大会　実行委員会
印　刷　　ジャパンプリント株式会社

よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN

やさしい甘さ
ヨーグルトテイスト



イミューズ
IMUSE
ヨーグルトテイスト

プラズマ乳酸菌

機能性表示食品 健康な人の免疫機能の維持に役立つ[プラズマ乳酸菌の研究報告]

機能性表示 本品には、プラズマ乳酸菌(*L. lactis* strain Plasma)が含まれます。プラズマ乳酸菌はpDC(プラズマサイトイド樹状細胞)に働きかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つことが報告されています。●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。●本品は、特定保健用食品と異なり、機能性及び安全性について国による評価を受けたものではありません。届け出られた科学的根拠等の情報は消費者庁のウェブサイトで確認できます。●医薬品ではありません。

のんだあとはリサイクル。 IMUSE-P.jp/plasma キリンビバレッジ株式会社

日本で生まれたボールを
未来へつなぐ。

SINCE 1934





KENKO BALL

（公財）全日本軟式野球連盟公認球

ナガセケンコー株式会社
www.nagase-kenko.com